



世界中の人々の健康と 輝かしい未来に貢献する

2021年度第3四半期決算
2022年2月3日

Better Health, Brighter Future

重要な注意事項



本注意事項において、「プレゼンテーション (presentation)」とは、本プレゼンテーションにおいて武田薬品工業株式会社（以下、「武田薬品」）によって説明又は配布された本書類、口頭のプレゼンテーション、質疑応答及び書面又は口頭の資料を意味します。本プレゼンテーション（それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みます）は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分の提案、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。本プレゼンテーションにより株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国 1933 年証券法に基づく登録又は登録免除の要件に従い行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本プレゼンテーションは、（投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく）情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で（受領者に対して提供される追加情報と共に）提供されております。当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性がございます。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本プレゼンテーションにおいて、「武田薬品」という用語は、武田薬品及びその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあります。同様に、「当社 (we, us及びour)」という用語は、子会社全般又はそこで勤務する者を参照していることもあり得ます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあり得ます。

本資料に記載されている製品名は、武田薬品または各所有者の商標または登録商標です。

将来に関する見通し情報

本プレゼンテーション及び本プレゼンテーションに関して配布された資料には、武田薬品の見積り、予測、目標及び計画を含む当社の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする (targets)」、「計画する (plans)」、「信じる (believes)」、「望む (hopes)」、「継続する (continues)」、「期待する (expects)」、「めざす (aims)」、「意図する (intends)」、「確実にする (ensures)」、「だろう (will)」、「かもしれない (may)」、「すべきであろう (should)」、「であろう (would)」、「することができた (could)」、「予想される (anticipates)」、「見込む (estimates)」、「予想する (projects)」などの用語若しくは同様の表現又はそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。これら将来見通し情報は、多くの重要な要因に関する前提に基づいており、実際の業績は、将来見通し情報において明示又は暗示された将来の業績とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、日本及び米国の一般的な経済条件を含む当社のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、世界的な医療制度改革を含む関連法規の変更、臨床的成功及び規制当局による判断とその時期の不確実性を含む新製品開発に内在する困難、新製品および既存製品の商業的成功の不確実性、製造における困難又は遅延、金利及び為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念、新規コロナウイルス・パンデミックのような健康危機が、当社が事業を行う国の政府を含む当社とその顧客及び供給業者又は当社事業の他の側面に及ぼす影響、買収対象企業とのPMI（買収後の統合活動）の時期及び影響、武田薬品の事業にとっての中核事業を売却する能力及びかかる資産売却のタイミング、当社のウェブサイト(<https://www.takeda.com/investors/reports/sec-filings/>)又はwww.sec.govにおいて閲覧可能な米国証券取引委員会に提出したForm 20-Fによる最新の年次報告書及び当社の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則により要請される場合を除き、本プレゼンテーションに含まれる、又は当社が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本プレゼンテーションにおける武田薬品の経営結果は武田薬品の将来の経営結果又はその公表を示すものではなく、その予測、予想、保証又は見積りではありません。

財務情報および国際会計基準に準拠しない財務指標

当社の財務諸表は、IFRSに基づき作成しております。

本プレゼンテーションには、実質的な売上収益、Core営業利益、実質的なCore営業利益、Core純利益、実質的なCore EPS、純有利子負債、EBITDA、調整後EBITDA、フリー・キャッシュ・フローのように、IFRSに準拠しない財務指標が含まれています。当社役員は業績評価並びに経営及び投資判断を、IFRS及び本プレゼンテーションに含まれるIFRS以外の指標に基づき行っています。IFRSに準拠しない財務指標においては、最も近いIFRS財務指標では含まれることとなる、又は異なる数値となる一定の利益、コスト及びキャッシュ・フロー項目を除外しております。IFRSに準拠しない財務指標を提供することで、当社役員は、投資家の皆様に対し、当社の経営状況、主要な業績及び動向の更なる分析のための付加的な情報を提供したいと考えております。IFRSに準拠しない財務指標は、IFRSに準拠するものではなく、付加的なものであり、また、IFRSに準拠する財務指標に代替するものではありません（IFRSに準拠する財務指標を「財務ベース」指標として参照している場合があります）。投資家の皆様におかれましては、IFRSに準拠しない財務指標につき、本プレゼンテーションの29-32、43-52、55ページに記載した、これらに最も良く対応するIFRS準拠財務指標との照合を行っていただけますようお願い申し上げます。

医療情報

本プレゼンテーションには、製品についての情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で発売されているものではありませんし、また国によって異なる商標、効能、用量等で販売されている場合もあります。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品の勧誘、宣伝又は広告するものではありません。

AGENDA

01. Introduction

クリストフ・ウェバー

代表取締役社長 CEO



02. R&Dエンジン

アンディー・プランプ

リサーチ&開発
プレジデント



03. 強固な財務プロファイル

コスタ・サルウコス

チーフ フィナンシャル オフィサー



04. 質疑応答

グローバルブランド14製品による堅調なトップライン成長

- 2021年度第3四半期の実質的な売上収益成長率は+7.1%¹、財務ベース売上収益成長率は+11.0%
- グローバルブランド14製品の実質的な売上収益成長率は+12.0%

ビジネスの勢い、営業経費管理の徹底、為替のプラス影響を反映し、2021年度通期予想を上方修正

- 財務ベース売上収益、財務ベースおよびCore営業利益、財務ベースおよびCore EPS、フリー・キャッシュ・フローの通期予想を上方修正
- 実質的な売上収益、実質的なCore営業利益、実質的なCore EPSの成長率²「1桁台半ば」のマネジメントガイダンス上限に向けて推移

革新的なパイプラインによる売上収益の成長に注力

- 約40の臨床段階にある革新性の高い開発パイプラインへの投資を継続
- 移植後の難治性サイトメガロウイルス（CMV）感染に対してLIVTENCITYが承認（2021年11月）、EXKIVITYに続き2021年度に2つ目の承認（米国）
- フォン・ヴィレブランド病の定期補充療法を含むVONVENDIの適応拡大（米国）、活動性の慢性回腸嚢炎に対する治療薬としてENTYVIOが承認取得（欧州）
- Adaptate Biotherapeutics社の買収意向を公表、この1年間でがん領域において3件目の「build-to-buy」買収

1. 定義は30ページ、調整表は43、45ページをご参照下さい。

2. 実質的な成長の定義は、30ページをご参照下さい。

3. 2021年度通期業績予想およびガイダンスは25ページをご参照下さい。

タケダ・エグゼクティブ・チーム



2022年4月1日より



クリストフ・ウェバー
代表取締役社長 CEO



アンディー・ブランブ
取締役、リサーチ & デベロップメント プレジデント



コスタ・サルウコス
取締役、チーフ フィナンシャル オフィサー



ガブリエレ・リッチ
チーフ データ&テクノロジー オフィサー



佐藤 弘毅
コーポレート戦略 オフィサー & チーフ オブ スタッフ



ジャイルズ・プラットフォード
PDTビジネスユニット プレジデント



ジュリー・キム
U.S.ビジネスユニット プレジデント



ジェリー・グレコ
グローバル クオリティ オフィサー



ローレン・デュブレイ
チーフ HR オフィサー



マルチェロ・アゴスティ
グローバル ビジネスデベロップメント オフィサー



岩崎 真人
代表取締役 日本管掌



古田 未来乃
ジャパンファーマ ビジネスユニット プレジデント



ラモナ・セケイラ
グローバル ポートフォリオ ディビジョン プレジデント



トーマス・ウオスニフスキー
グローバル マニュファクチャリング& サプライ オフィサー



ムワナ・ルゴゴ
チーフ エシックス& コンプライアンス オフィサー



大藪 貴子
チーフ グローバル コーポレート アフェアーズ & サステナビリティ オフィサー



中川 仁敬
グローバル ジェネラル カウンセル



テレサ・ビテッティ
グローバルオンコロジー ビジネスユニット プレジデント

COVID-19と闘うためのワクチンに関するパートナーシップの進捗



ワクチン	作用機序	現在の状況
Novavax社 COVID-19ワクチン候補 TAK-019 (Novavax社から導入)	SARS-CoV-2に対する Matrix-M含有 リコンビナントスパイク タンパクワクチン候補	<ul style="list-style-type: none">Novavax社のCOVID-19ワクチン候補について、同社との提携により、国内の光工場で開発、製造、商業化を行い、パンデミックとそれ以降に対応1億5,000万回接種分のTAK-019の購入について日本政府（厚生労働省）と合意国内におけるTAK-019の価格は厚生労働省との合意のもと決定予定。製造設備の設置および国内での適切な臨床試験実施のために日本政府から援助された資金が考慮される規制当局による承認取得後、国内において2022年初頭に初回分の供給開始を目指す
スパイクバックス™筋注 (Moderna社から導入)	SARS-CoV-2に対する mRNAワクチン	<ul style="list-style-type: none">Moderna社のCOVID-19ワクチンについて、日本政府（厚生労働省）、Moderna社、当社の3者間で、国内における輸入・供給に関する合意初回契約分のワクチン（1回あたり100μg）5,000万回接種分は2021年に供給済み追加接種の9,300万回接種分（1回あたり50μg）について2022年1月から輸入・供給開始

移植後のCMV市場



- **19万** 移植数/年間 (全世界) ^{1,2}
- **25%** の移植例がCMV感染^{3,4}を発症



患者さんの特定は十分で、高度に集中した施設で治療される



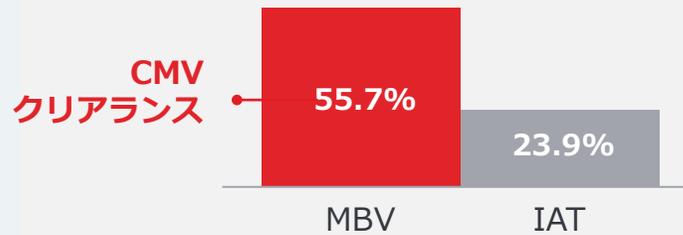
移植チームは**迅速**に採用する傾向がある



難治性/治療抵抗性の移植後CMVに対し、これまで**承認された治療薬はない**

LIVTENCITYプロファイル

有効性における優越性 (奏効率)



良好な忍容性および安全性プロファイル



一次治療/難治性・治療抵抗性/臓器移植/造血幹細胞移植に対する広範なエビデンス



在宅治療が可能な経口剤

上市および想定マイルストーン



米国でLIVTENCITYを発売後、患者さんは**早期にアクセスが可能となり**、移植コミュニティから高い関心が寄せられていることは、当社としても喜ばしい



進行中の一次治療におけるPh3のデータ読み出しは**2022年後半の見込み**



EMAへの申請完了 (希少疾病用医薬品指定)



中国での申請 2022年見込み



日本での申請 2023年見込み

CMV : サイトメガロウイルス、MBV : maribavir、IAT (Investigator Assigned Treatment) : 主治医選択治療薬

1: <https://www.who.int/transplantation/gkt/statistics/en/> 2.Niederwieser, D., Baldomero, H., Atsuta Y et al. One and Half Million Hematopoietic Stem Cell Transplants (HSCT). Dissemination, Trends and Potential to Improve Activity By Telemedicine from the Worldwide Network for Blood and Marrow Transplantation (WBMT). Blood (2019) 134 (Supplement_1): 2035. 3. L Stern, B Withers, S Avdic et al. Human Cytomegalovirus Latency and Reactivation in Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplant Recipients. Front Microbiol. 2019 May 28;10:1186. 4.Poornima Ramanan, Raymund Razonable. Cytomegalovirus Infections in Solid Organ Transplantation: A Review. Infect Chemother. 2013 Sep; 45(3): 260-271.

AGENDA

- 01. Introduction** クリストフ・ウェバー
代表取締役社長 CEO
- 02. R&Dエンジン** アンディー・プランプ
リサーチ&開発
プレジデント
- 03. 強固な財務プロファイル** コスタ・サルウコス
チーフ フィナンシャル オフィサー
- 04. 質疑応答**



2021年度第2四半期決算表後の当社パイプラインのアップデート



グローバル・ 地域ブランド

ENTYVIO (vedolizumab)

欧州において、活動性の慢性回腸囊炎の治療薬として承認取得

Vonvendi (rVWF)

米国食品医薬品局 (FDA) から、重篤な3型フォン・ヴィレブランド病成人への定期補充療法の承認

スパイクバックス™

日本において、50µgの追加接種について厚生労働省から承認 (Moderna社 COVID-19ワクチン)

TAK-019

日本において、2021年12月に承認申請を厚生労働省に提出 (Novavax社 COVID-19ワクチン)

ウェーブ1& ウェーブ2

LIVTENCITY (maribavir)

2021年11月に、移植後の治療抵抗性・難治性CMV感染に対してFDAより承認取得

TAK-003 (デング熱ワクチン)

ピボタルPh3試験の4.5年データを提出予定、2022年度にCHMPより見解を受領する見込み

TAK-500 (STING)

FDAから治験許可を取得、被験者登録は第4四半期に開始予定

TAK-721 (Eohilia)

審査完了報告通知 (CRL) の包括的な社内レビューが完了、開発中止という困難な決定に至った

事業開発

Adaptate Biotherapeutics社

γδ T細胞エンゲージャープラットフォームの買収計画により、がん免疫ポートフォリオを強化

TAK-607 (rIGF-1/IGFBP-3)

Oak Hill Bio社が、TAK-607 (早産児合併症) およびその他候補物質の権利・ライセンスを獲得

当社は契約一時金、同社株式、将来のマイルストーンおよびロイヤルティ受領の権利を取得

VONVENDI® : 3型フォン・ヴィレブランド病 (VWD) 成人への定期補充療法として初めての遺伝子組換え治療薬



遺伝子組換えフォン・ヴィレブランド因子 (rVWF)



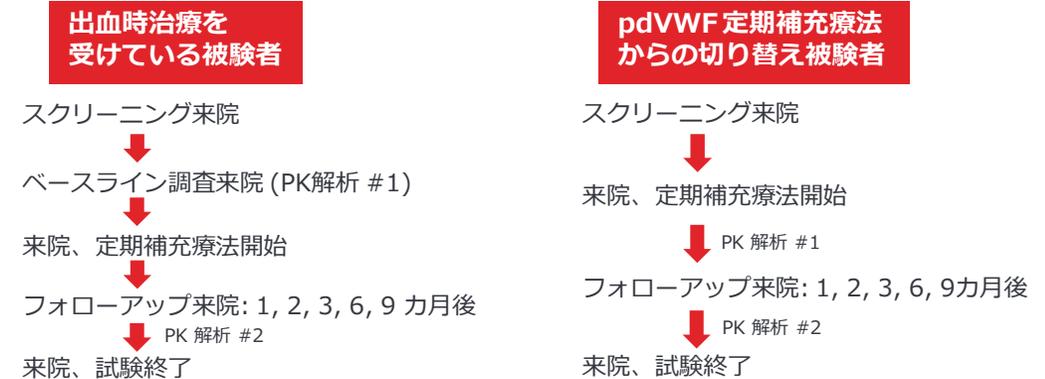
疾患背景

- VWDは、最も一般的な遺伝性出血性疾患と考えられており、約100人に1人が罹患する¹
- 推定10,000人に1人が症候性²で、ほとんどのキャリアは無症状か軽微な症状
- 既承認適応：成人の出血時治療および出血管理、周術期における止血管理

規制当局対応 アップデート および マイルストーン

- 米国食品医薬品局 (FDA) は、出血時治療を受けている重度の3型VWD成人患者さんにおける出血エピソードの頻度を減少させるための初めてかつ唯一の定期補充療法として、VONVENDIを承認

重篤なフォン・ヴィレブランド病におけるrVWFの有効性・安全性を検証する VONVENDIの臨床第3相国際多施設共同試験



出血性イベントの種類または部位	出血数 試験前/試験中	過去のABRs ^a 中央値 (最小値、最大値)	試験データのABRs ^a 中央値 (最小値、最大値)
すべての出血 ^b	201/38	5.0 (3.0, 159.0)	2.3 (0, 157.9)
自然発生出血 ^c	195/33	3.5 (3.0, 158.0)	1.0 (0.0, 157.9)
関節出血 ^b	23/3	2.0 (0.0, 7.0)	0.0 (0.0, 1.9)

1. Rodeghiero F, Castaman G, Dini E. Epidemiological investigation of the prev. of VWD. Blood. 1987;69(2):454-459.
 2. Bowman M, Hopman WM, Rapson D, Lillicrap D, James P. The prevalence of symptomatic von Willebrand disease in primary care practice. J Thromb Haemost. 2010;8(1):213-216.

^a 出血時治療歴のある3型の患者さんの記述統計に基づく年間出血率 (ABR : Annualized Bleeding Rate)
^b 既治療および未治療の自然発生出血および外傷性出血事象を含む
^c 既治療および未治療の出血事象を含む

当社のパイプラインは価値を提供し始めている



ウェーブ1¹

臨床段階の新規候補物質

ウェーブ2²

承認目標	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度以降				
<p>オンコロジー</p>	<p>EXKIVITY™³ 2L NSCLC with EGFR exon 20 insertion mutation</p>		<p>EXKIVITY™³ 1L NSCLC with EGFR exon 20 insertion mutation</p>		<p>subasumstat Multiple cancers</p> <p>modakafusp alfa R/R MM</p>	<p>TAK-007 CD19+ hematologic malignancies</p> <p>TAK-605 Multiple cancers</p>	<p>TAK-676 Solid tumors</p> <p>TAK-186 EGFR Solid Tumor</p>	<p>TAK-500⁵ Solid tumors</p> <p>TAK-940 CD19+ hematologic malignancies</p>	<p>TAK-102 Multiple cancers</p>
<p>希少遺伝子疾患 および血液疾患</p>	<p>LIVTENCITY™³ R/R CMV infect. in transplant</p>	<p>TAK-609 Hunter CNS (IT)⁴</p>	<p>LIVTENCITY™³ 1L CMV infect. in HSCT</p> <p>TAK-755 cTTP</p>	<p>TAK-611 MLD (IT)</p>	<p>TAK-755 iTTP, SCD</p> <p>pabinafusp alfa⁶ Hunter Syndrome</p>	<p>mezagitamab MG, ITP</p>			
<p>ニューロ サイエンス (神経精神疾患)</p>			<p>soticlestat DS</p> <p>soticlestat LGS</p>		<p>orexin 2R-ag TAK-861/994⁷ NT1, NT2, IH, Other</p> <p>orexin 2R-ag TAK-925 Hospital setting</p>	<p>TAK-653⁸ Inadequate resp. in MDD</p> <p>TAK-041⁸ Anhedonia in MDD</p>	<p>TAK-341 Parkinson's Disease</p> <p>TAK-071 Parkinson's Disease</p>		
<p>消化器系疾患</p>					<p>TAK-999 AATD Liver Disease</p> <p>TAK-906 Gastroparesis</p>	<p>TAK-951 Nausea & vomiting</p> <p>TAK-954 POGD</p>	<p>TAK-105 Nausea & vomiting</p> <p>TAK-510 Nausea & vomiting</p>	<p>TAK-101 Celiac Disease</p> <p>TAK-062 Celiac Disease</p>	<p>sibofimloc Crohn's Disease (post-op and ileitis)</p> <p>TAK-039 Hepatic encephalopathy</p>
<p>ワクチン</p>	<p>TAK-019 Novavax COVID-19 Vaccine (JP)</p> <p>Spikevax™ Moderna COVID-19 Vacc IM Injection (JP)</p>	<p>TAK-003 Dengue Vaccine</p>			<p>TAK-426 Zika Vaccine</p>				

● 米国での画期的新薬指定
および/またはファストトラック指定

● 中国での画期的新薬指定
および/または日本での先駆け審査指定

少なくとも1つの適応症で
希少疾病用医薬品の可能性

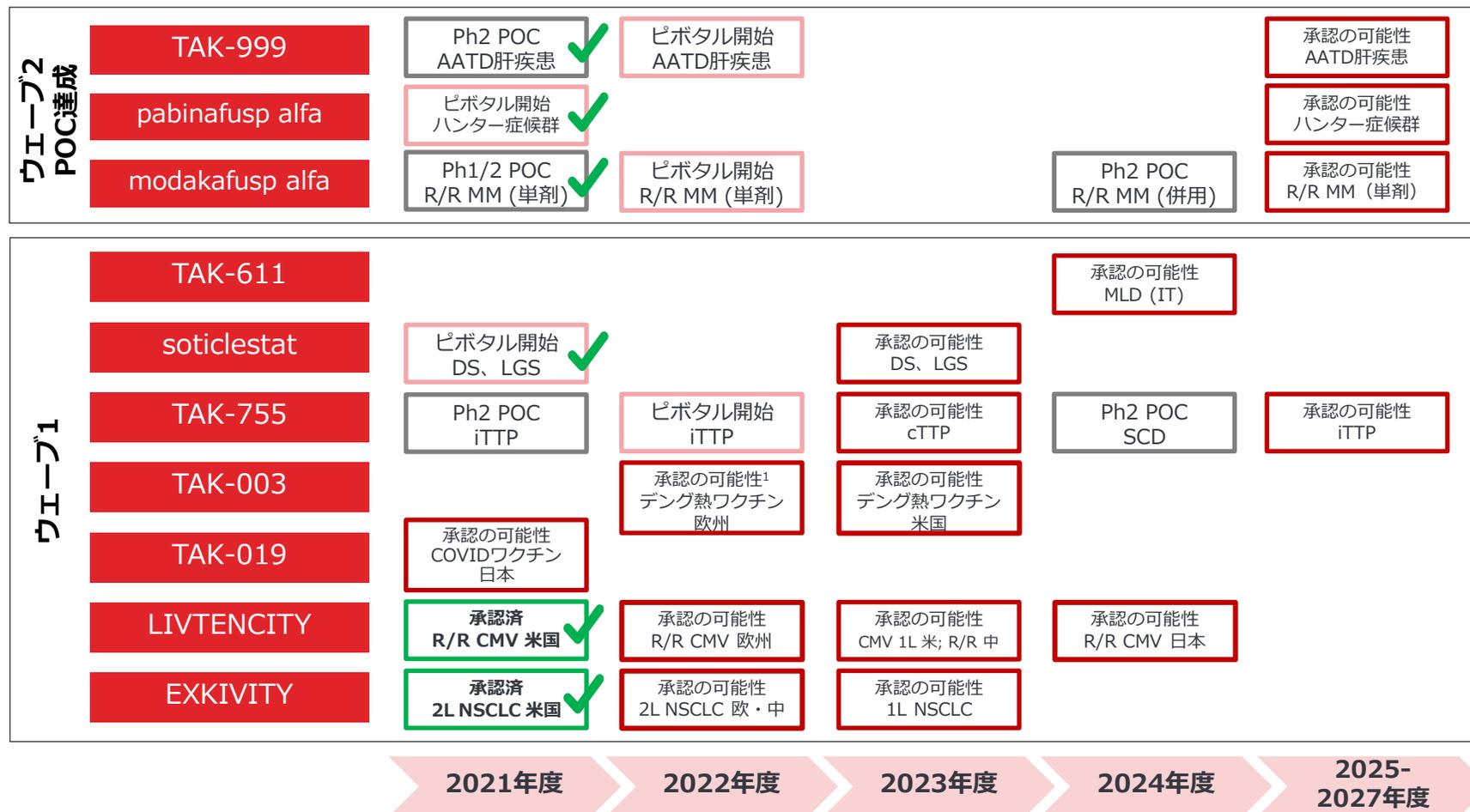
承認

新規追加

1. 承認日の予想はデータ読み出しに影響される。ウェーブ1の一部の承認目標日は迅速承認を想定している。
2. ウェーブ2の一部は、取得データによりウェーブ1に加速される可能性がある。
3. EXKIVITY (製品名) - mobocertinib (一般名) ; LIVTENCITY (製品名) - maribavir (一般名)
4. TAK-609の申請時期は、現在実施中の長期試験に対する規制当局からのフィードバック次第で変更の可能性がある。
5. 米国食品医薬品局 (FDA) がIND申請を受領、被験者登録は2021年度第4四半期に開始予定。
6. Pabinafusp alfa (一般名) - JR-141, JCRファーマ社との提携。

7. TAK-994の臨床試験は、米国にて臨床試験中断。
8. Neurocrine Biosciences社との提携。
新規候補物質パイプラインからの削除: Eohilia, TAK-607, TAK-252, 詳細は四半期フィナンシャルレポートをご確認下さい。
当社の会計年度は翌年3月31日まで。例: 「2021年度」は2022年3月31日までの12カ月間。
全てのタイムラインは2022年2月3日時点におけるおおよその予測。疾患名の略語用語集は参考資料をご参照下さい。

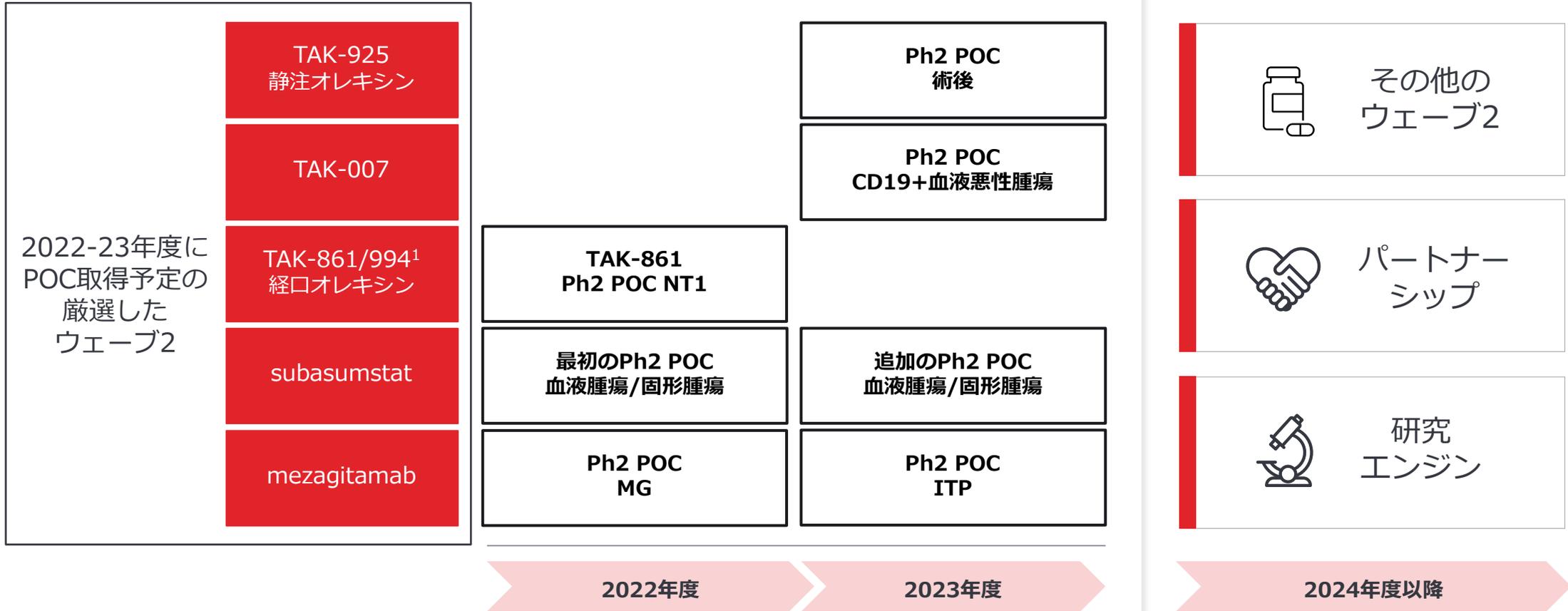
新規候補物質の承認と適応症拡大が期待されている 臨床第3相試験・ピボタル試験



 プルーフ・オブ・コンセプト(POC)
 ピボタル試験開始
 承認の可能性
 承認済
 ✔ 達成したマイルストーン

疾患名の略語用語集は参考資料をご参照下さい。

今後2年間にわたるPOCデータの読み出しにより、 高い付加価値が生まれる可能性



1. TAK-994の臨床試験は、米国にて臨床試験中断。
疾患名の略語用語集は参考資料をご参照下さい。

AGENDA

- 01. Introduction** **クリストフ・ウェバー**
代表取締役社長 CEO
- 02. R&Dエンジン** **アンディー・プランプ**
リサーチ&開発
プレジデント
- 03. 強固な財務プロファイル** **コスタ・サルウコス**
チーフ フィナンシャル オフィサー
- 04. 質疑応答**



トップライン成長の加速：グローバルブランド14製品が牽引し、 2021年度第3四半期累計の実質的な売上収益成長率は+7.1%¹



2021年度第3四半期累計（4-12月）

トップライン

- 実質的な売上収益成長率 +7.1%¹ グローバルブランド14製品の成長（+12.0%）が牽引
- 財務ベース売上収益 2兆6,957億円（234億米ドル）³ +11.0%成長

利益率

- 実質的なCore営業利益率 29.4%¹ 実質的なCore営業利益成長率 +5.4%
- Core営業利益 7,579億円（66億米ドル）^{1,3} 主に事業等の売却影響により△2.9%
- 財務ベース営業利益 4,625億円（40億米ドル）³ 成長率+28.9%

キャッシュ・フロー

- フリー・キャッシュ・フロー 6,713億円（58億米ドル）^{3,4} 通期目標を7,000-8,000億円へ上方修正
- 純有利子負債/調整後EBITDA⁵ 3.0倍 年間配当金支払いも含む
- 潤沢なキャッシュ・フローにより、15億米ドルの2023年度満期社債の早期償還を通知

2021年度通期見通し

- 財務ベース売上収益、財務ベースおよびCore営業利益、財務ベースおよびCore EPS、フリー・キャッシュ・フローの通期予想を上方修正
- 実質的な売上収益、実質的なCore営業利益、実質的なCore EPSの成長率² は「1桁台半ば」のマネジメントガイダンスの上限に向けて推移

1. 定義は30ページ、調整表は43、45ページをご参照下さい。
2. 2021年度通期業績予想およびガイダンスは25ページをご参照下さい。
3. 米ドルでの表記は1米ドル115.17円で換算した参考値。

4. 定義は31ページ、調整表は49ページをご参照下さい。
5. 定義は32ページ、調整表は50-52ページをご参照下さい。

2021年度第3四半期累計の力強いトップラインの成長、 Core営業利益は、事業等の売却による影響を反映



2021年度第3四半期累計（4-12月） 連結業績（サマリー）

(億円)	財務ベース		CORE ¹		実質ベース ²
	2021年度 第3四半期累計	対前年同期	2021年度 第3四半期累計	対前年同期	
売上収益	26,957	+11.0%	25,627	+5.6%	+7.1%
営業利益	4,625	+28.9%	7,579	△2.9%	+5.4%
営業利益率	17.2%	+2.4pp	29.6%	△2.6pp	29.4%
当期利益	2,414	+34.9%	5,215	+0.3%	
EPS (円)	154 円	+34.5%	333 円	△0.0%	+9.9%
営業活動による キャッシュ・フロー	7,475	+22.6%			
フリー・キャッシュ・フロー ³	6,713	△6.4%			

1. 定義は30ページ、調整表は45ページをご参照下さい。Core売上収益は、日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ売却による1,330億円を控除したものの。

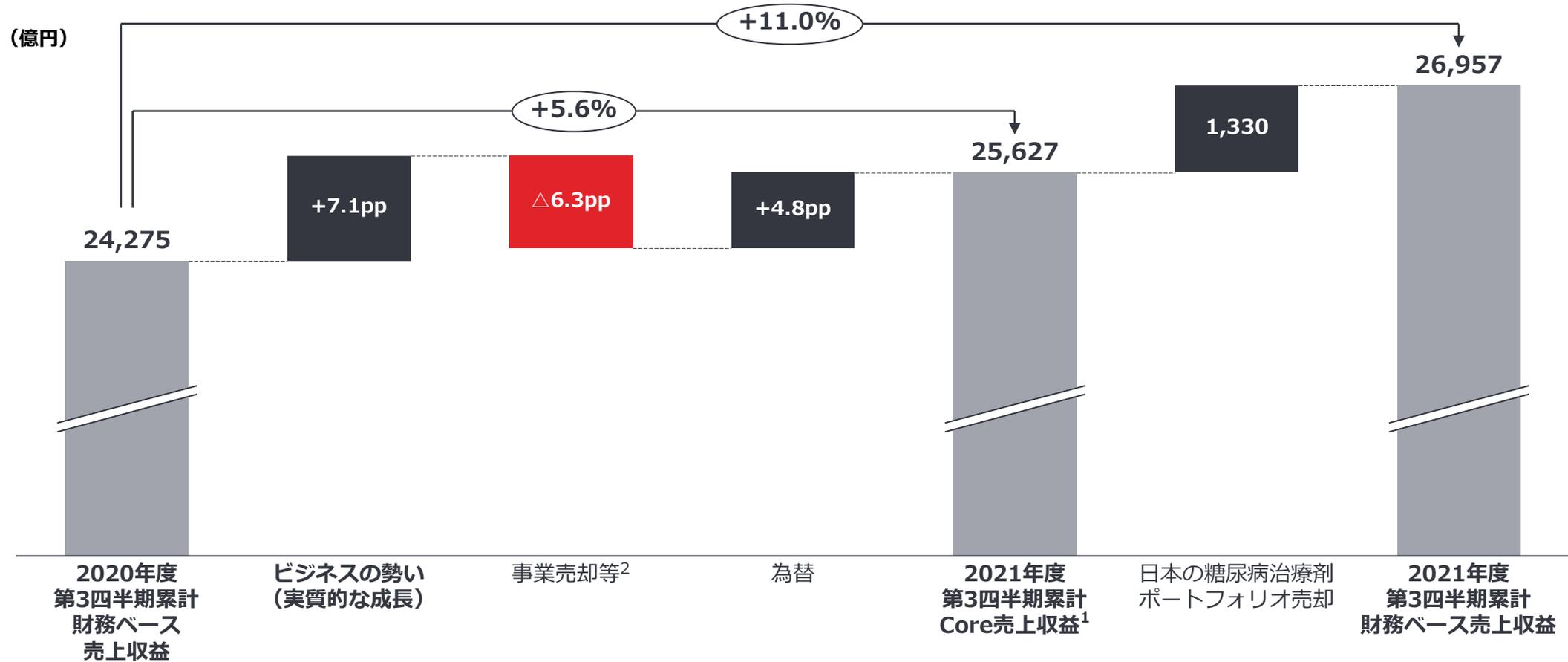
2. 定義は30ページ、調整表は45ページをご参照下さい。

3. 定義は31ページ、調整表は49ページをご参照下さい。

実質的な売上収益の勢いはグローバルブランド14製品によって牽引 財務ベース売上収益は、糖尿病治療剤ポートフォリオ売却のプラス影響を受ける



2021年度第3四半期累計売上収益（対前年同期）

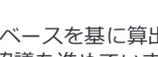


上記は参考図

1. 定義は30ページ、調整表は43、45ページをご参照下さい。
2. 財務ベース売上収益に計上される日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ売却による収入を除く事業売却による売上収益。

消化器系疾患、血漿分画製剤、オンコロジー、ニューロサイエンスの力強い成長が牽引する 主要な5つのビジネス領域により、2021年度第3四半期累計の実質的な売上収益成長率は+7.1%¹

2021年度第3四半期累計 売上収益²

 <p>消化器系疾患 対売上収益比約26% 対前年比+8%</p>	 <p>希少疾患 対売上収益比約18% 対前年比△1%</p>			 <p>血漿分画製剤 (PDT)</p>	 <p>オンコロジー 対売上収益比約14% 対前年比+8%</p>	 <p>ニューロサイエンス (神経精神疾患) 対売上収益比約14% 対前年比+10%</p>	<p>その他 対売上収益比約14% 対前年比+11%</p>
       	<p>希少代謝性疾患 対売上収益比約5% 対前年比+5%</p>    	<p>希少血液疾患 対売上収益比約8% 対前年比△8%</p>      	<p>遺伝性血管浮腫 対売上収益比約5% 対前年比+5%</p>   	<p>血漿分画製剤 (免疫疾患) 対売上収益比約14% 対前年比+10%</p>          	<p>オンコロジー 対売上収益比約14% 対前年比+8%</p>        	<p>ニューロサイエンス (神経精神疾患) 対売上収益比約14% 対前年比+10%</p>     	<p>その他 対売上収益比約14% 対前年比+11%</p>    <p>スパイクボックス®筋注</p> <p>その他</p>

1. 定義は30ページ、調整表は43、45ページをご参照下さい。
 2. 売上収益の割合は、日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ売却による1,330億円を控除したCoreベースを基に算出。対前年比は実質的な成長率。
 3. 当社は、米国におけるNATPARAの供給再開計画について米国食品医薬品局（FDA）と緊密に協議を進めていますが、現時点では、2022年3月31日より前に米国市場へ供給を再開することはないと想定。

グローバルブランド14製品は、2021年度第3四半期累計 Core売上収益¹の42%を占め、実質的な売上収益成長率は+12.0%



2021年度
第3四半期累計 売上収益
(億円) (百万米ドル²) 対前年同期
(実質ベース)

	3,954	3,433	+17.2%
	566	492	+7.6%
	14	12	+123.3%

	免疫グロブリン	2,783	2,417	+7.3%
				+4.5%
				+6.9%
				+27.5%
	アルブミン ³	615	534	+29.7%

2021年度
第3四半期累計 売上収益
(億円) (百万米ドル²) 対前年同期
(実質ベース)

	707	614	△1.1%
	101	88	+48.4%

		784	681	+13.2%
		459	398	+0.6%
		39	34	+45.2%
		577	501	+7.8%
		322	279	+6.7%

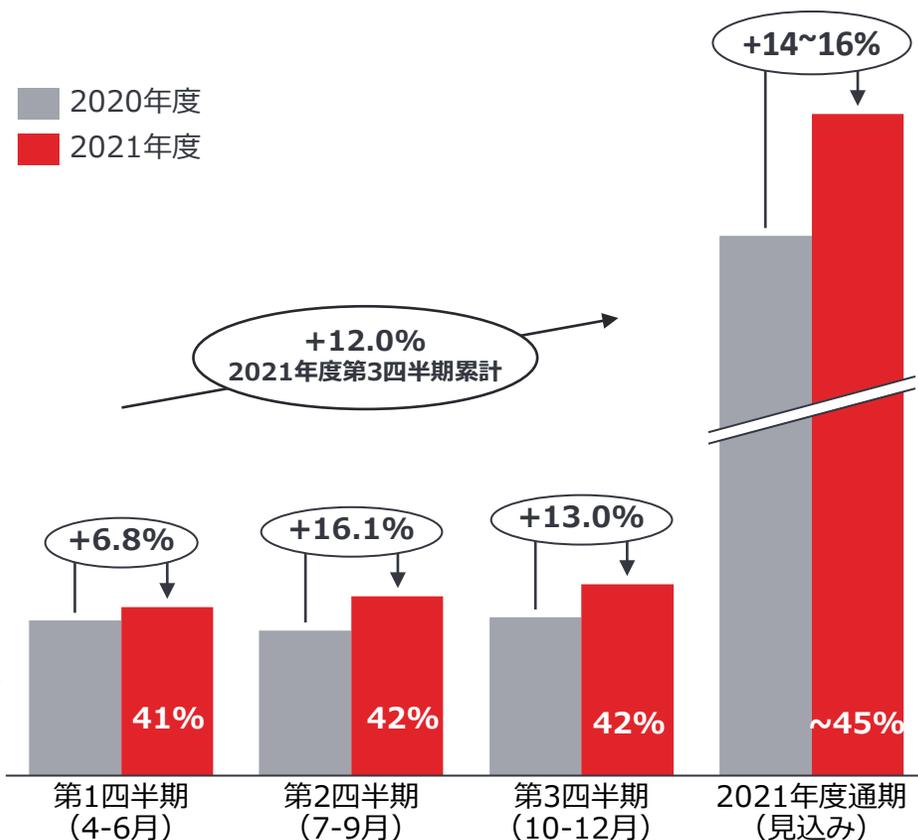
グローバルブランド14製品の2021年度第3四半期累計売上収益⁴
1兆732億円 (93億米ドル²)

1. 売上収益の割合は、日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ売却による1,330億円を控除したCoreベースを基に算出。対前年比は実質的な成長率。
 2. 米ドルでの表記は1米ドル115.17円で換算した参考値。
 3. Albumin Glass, Flexbuminおよび献血アルブミンを含みます。
 4. グローバルブランド14製品に含まれていない、一部の免疫グロブリン（Gammagard SD, Subcuvia, Kenketsu Glovenin等）、アルブミン（Kenketsu Albumin等）を除く。
 注：売上収益の絶対値は国際会計基準（IFRS）財務ベース、対前年比は実質的な成長率。定義は30ページをご参照下さい。

グローバルブランド14製品の成長の勢いは継続



グローバルブランド14製品の成長率および売上収益に占める割合¹



2021年度第3四半期累計の実質的な売上収益成長率は+12.0%

- 各地域におけるグローバルブランド14製品の実質的な成長率
 - 米国: +8%
 - 欧州・カナダ: +16%
 - 日本: +19%
 - 成長新興国: +30% (中国+61%)
- 通期予想である+14~16%成長に向けて想定通り推移

成長の勢いは、2021年度以降も継続する見込み

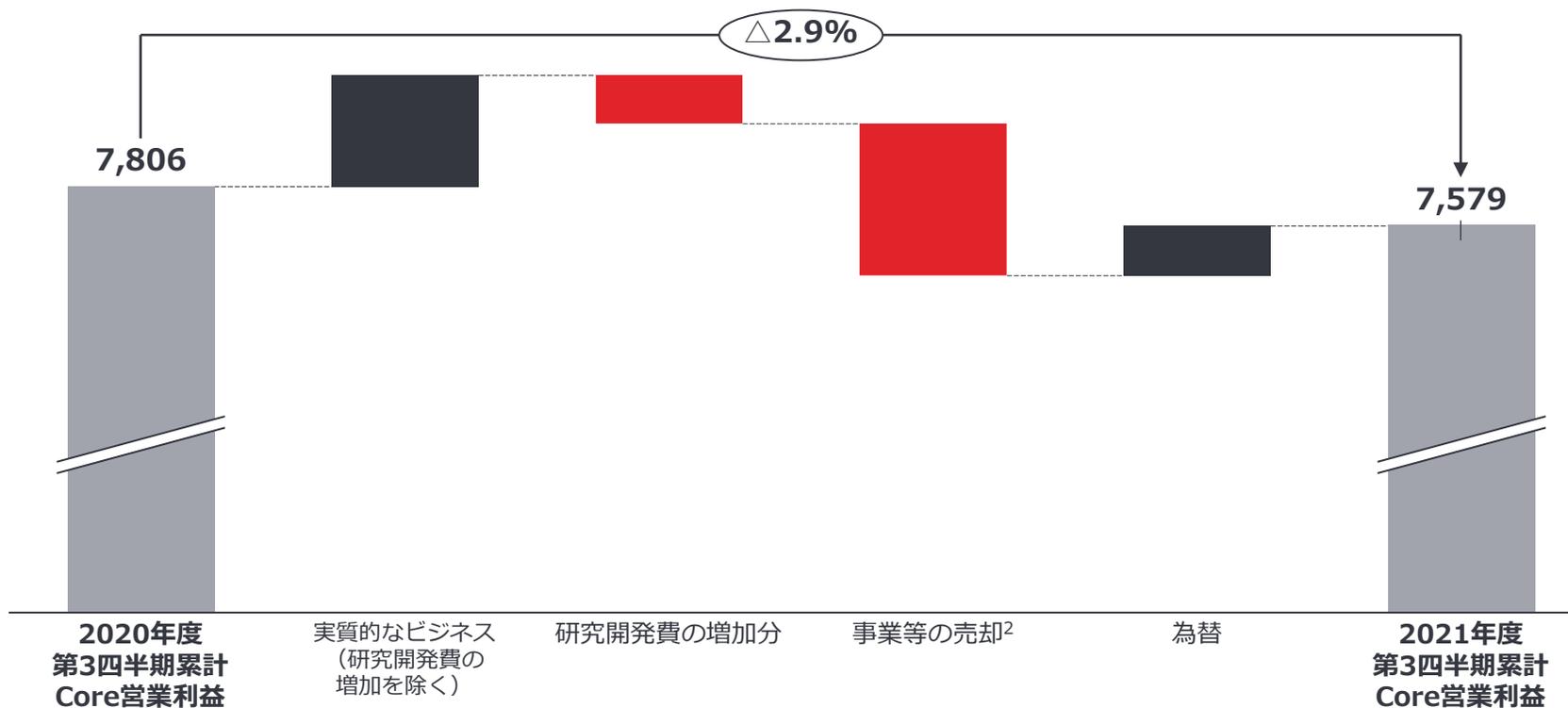
- 上市国における市場浸透が継続
- 疾患啓発を通じ市場規模を拡大
- 日本、中国および新興国市場を含む展開地域の拡大
- データ保護期間満了のタイミングでのEntyvioバイオシミラー上市を想定しない

CORE営業利益は事業等の売却影響を反映



2021年度第3四半期累計 CORE営業利益¹

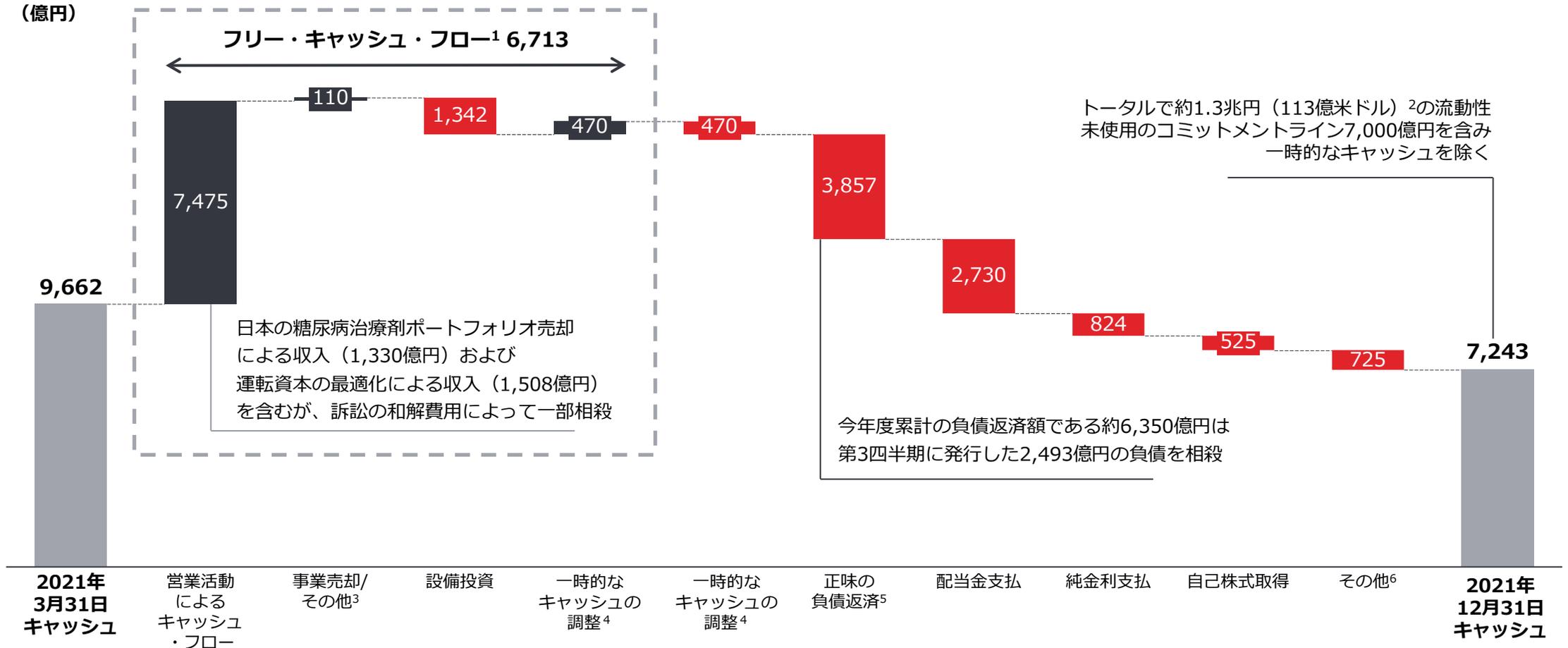
(億円)



上記は参考図

1. 定義は30ページ、調整表は45、47ページをご参照下さい。
2. 売却した事業等に帰属する営業利益。Core営業利益から調整される事業等の売却益は含まれません。

2021年度第3四半期累計の堅調なキャッシュ・フローにより、フリー・キャッシュ・フローの通期予想を7,000~8,000億円へ上方修正



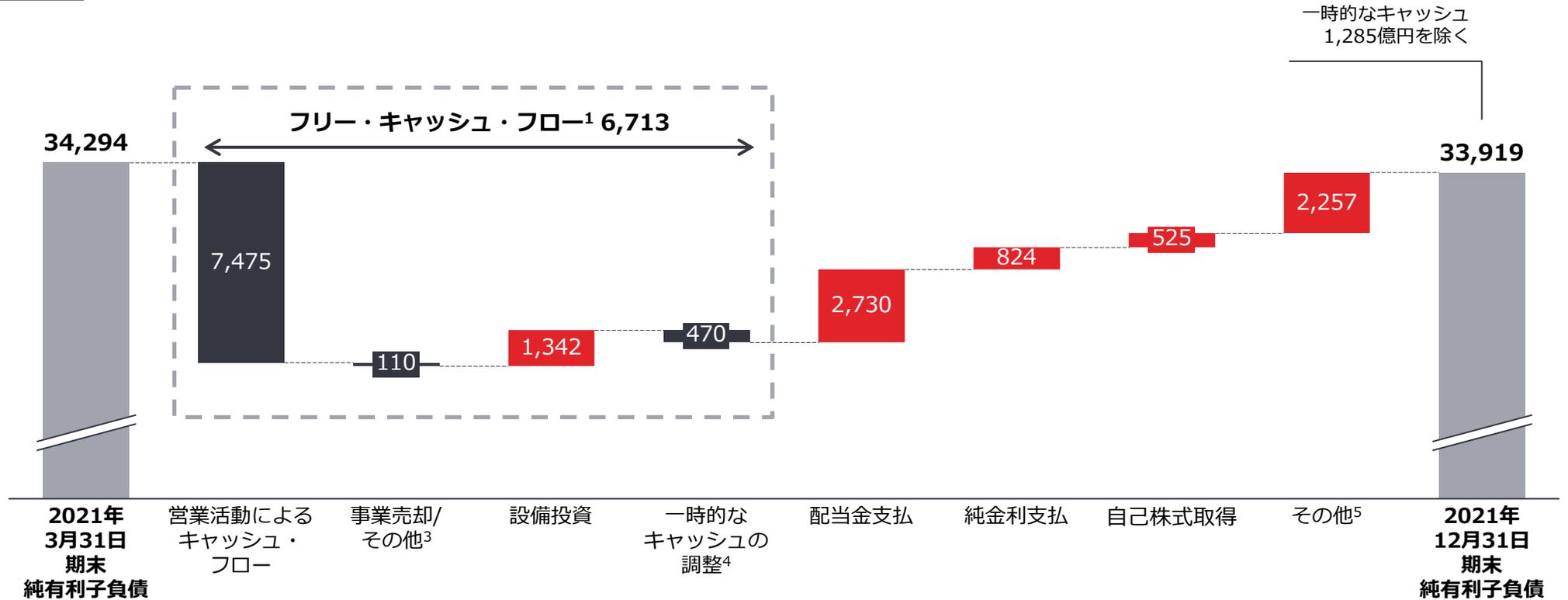
1. 定義は31ページ、調整表は49ページをご参照下さい。
2. 米ドルでの表記は1米ドル115.11円で換算した参考値。
3. 事業売却による収入は、有価証券の売却による収入と投資による支出を相殺した金額。
4. 一時的なキャッシュの調整は、ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関係して当社が第三者に代わり一時的に保有していた現金を指します。
5. 「正味の負債返済」は、負債削減プレミアムを含む返済額約6,350億円（4,141億円（JBICローン 37億米ドル）、1,982億円（ユーロ建社債 15億ユーロ）、228億円（米ドル建社債 2億米ドル））から、2021年度第3四半期に発行した社債2,493億円（フィーを除く）を相殺した金額。
6. 「その他」の項目は、為替影響、リース債務による支出、事業取得による支出、投資の取得による支出および条件付き対価支払いを含みます。

配当金支払い後も、 純有利子負債/調整後EBITDA倍率は3.0倍に改善



純有利子負債の変化

(億円)



純有利子負債/
調整後EBITDA²

3.2x

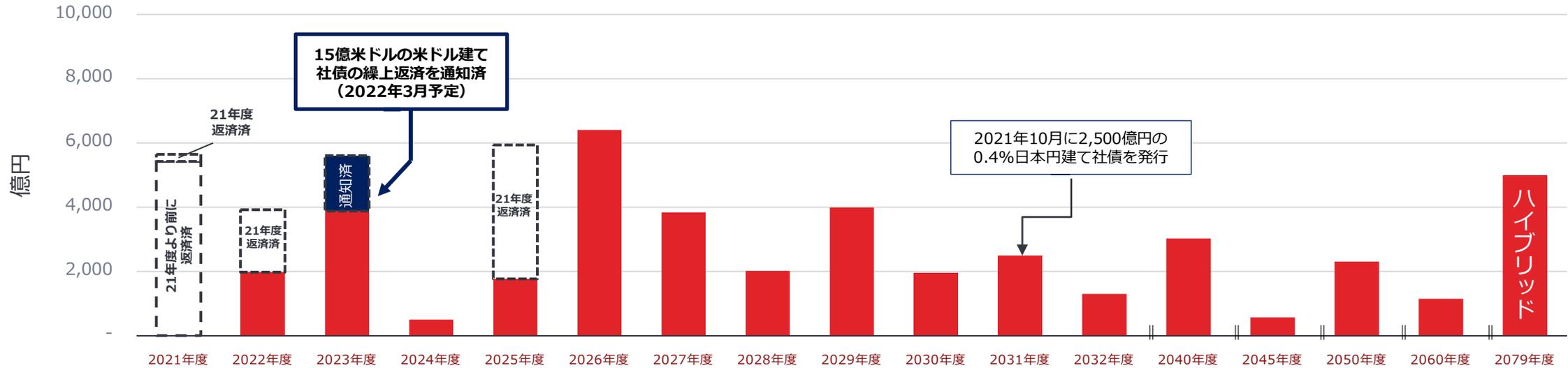
3.0x

1. 定義は31ページ、調整表は49ページをご参照下さい。
2. 「調整後EBITDA」は主に非資金性の項目、一過性の費用を調整したもの。調整後EBITDAおよび純有利子負債に関する定義は32ページ、それらの調整表は50-52ページをご参照下さい。
3. 事業売却による収入は、有価証券の売却による収入と投資の取得による支出を相殺した金額。
4. 一時的なキャッシュの調整は、ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに關係して当社が第三者に代わり一時的に保有していた現金を指します。
5. 負債簿価の資金性および非資金性の調整、リース債務による支出、事業取得による支出、投資の取得による支出および条件付き対価支払いを含みます。非資金性の調整は、負債償却による変動、外貨建て有利子負債を日本円換算する際の為替影響を含みます。

潤沢なキャッシュ・フローにより、2023年度満期社債15億米ドルについて 繰上償還を通知、負債残高に占める固定金利の割合は98%に



2021年12月31日時点（調整後）¹のマチュリティラダー



加重平均金利：約2%（固定金利負債の割合は約98%）

2025年度までに満期を迎える負債残高の平均金額は年間約2,000億円

通期負債返済見込みであった4,500億円を超過し、2021年度は約5,500億円の負債返済に向けて順調に進捗

力強いビジネスの勢い、営業経費管理の徹底、為替のプラス影響を反映し、 通期の業績見通しを上方修正



会社予想 (億円)	2021年度 前回予想 (2021年10月)	2021年度 修正予想 (2022年2月)
財務ベース売上収益	33,700	35,100
財務ベース営業利益	4,880	5,150
Core営業利益 ¹	9,300	9,700
財務ベースEPS (円)	117	155
Core EPS (円)	394	416
フリー・キャッシュ・フロー	6,000-7,000	7,000-8,000
1株当たり年間配当 (円)	180	180

実質ベース ² (マネジメントガイダンス) (2021年5月から変更なし)
一桁台半ばの成長率
一桁台半ばの成長率 約30%の利益率
一桁台半ばの成長率

2021年度業績予想における重要な前提条件：

- (1) 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な流行拡大に伴う、業績に対する重大な影響は現時点までに生じておりません。当社は、COVID-19は2021年度の当社業績に対して重大な影響を及ぼすことはないとの現時点で入手可能な情報に基づき考えており、当社の2021年度業績予想はこの考え方を反映しています。しかしながら、COVID-19を取り巻く状況は引き続き非常に流動的であり、新規または追加的な流行拡大や、主要市場におけるロックダウンや屋内退避命令の新規の措置や延長、その他政府による対策など、2021年度中の進展によっては、当社製品の需要減少やサプライチェーンに関連する問題の発生、または臨床試験の大幅な遅延など当社事業に深刻な影響を与える可能性があります。このような事態が生じた場合、当社事業や経営成績、財政状態に追加的な影響が及び、また、当社の2021年度業績は予想から大きく乖離する可能性があります。
- (2) 「ベルケイド」については、2021年度終わり頃に、505(b)2申請に基づく皮下投与製剤の新たな競合品が少なくとも1つ米国において上市されることを見込んでおります。
- (3) 米国の「NATPARA」については、2021年度中に再販売することを見込んでおりません。
- (4) 事業等の売却については、公表済みの案件以外の将来の売却可能性の影響を考慮しておりません。

1. 定義は30ページ、2021年度業績予想の調整表は55ページをご参照下さい。

2. 実質的な成長率は事業売却等（2020年度に売却された事業等および2021年度に譲渡完了見込みの公表済みの事業等）の影響を調整し、2020年度通期の期中平均為替レートを適用。定義は34ページをご参照下さい。

トップライン成長の加速：グローバルブランド14製品が牽引し、 2021年度第3四半期累計の実質的な売上収益成長率は+7.1%¹



2021年度第3四半期累計（4-12月）

目標に向けて想定通り進捗

トップライン

- 実質的な売上収益の成長率 +7.1%¹

- 2021年度通期マネジメントガイダンス「一桁台半ば」の成長²

利益率

- Core営業利益² 7,579億円
- 実質的なCore営業利益²率 29.4%

- 通期Core営業利益予想を9,700億円へ上方修正
- 実質的なCore営業利益率目標の約30%へ向けて順調に進捗

キャッシュ・フロー

- フリー・キャッシュ・フロー³ 6,713億円
- 純有利子負債/調整後EBITDA⁴ 3.0倍

- フリー・キャッシュ・フロー³の通期目標を7,000-8,000億円へ上方修正
- 純有利子負債/調整後EBITDA倍率⁴は、2023年度までに目標とする2x（2倍台前半）へ

1. 定義は30ページ、調整表は43、45ページをご参照下さい。

2. 定義は30ページ、調整表は45ページをご参照下さい。

3. 定義は31ページ、調整表は49ページをご参照下さい。

4. 定義は32ページ、調整表は50-52ページをご参照下さい。

質疑応答



クリストフ・ウェバー
代表取締役社長 CEO



アンディー・プランプ
リサーチ&開発
プレジデント



コスタ・サルウコス
チーフ フィナンシャル
オフィサー



岩崎 真人
日本管掌



ラモナ・セケイラ
USビジネスユニット&
グローバルポートフォリオ
コマースライゼーション
プレジデント

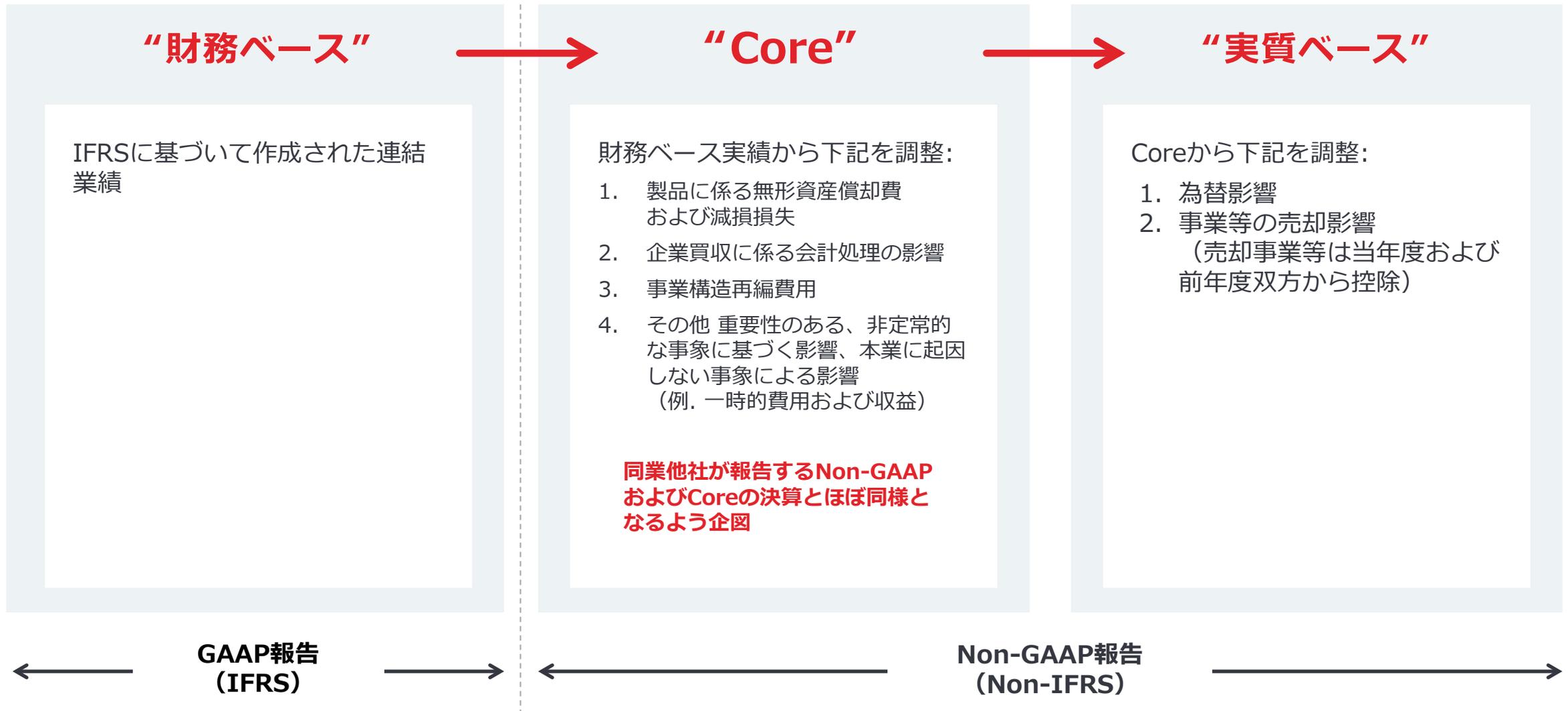


ジュリー・キム
プラズマ デイライブド
セラピーズ ビジネスユニット
プレジデント



APPENDIX





「Core」と「実質的な成長」の定義



当社は、事業の計画策定および業績評価において、「実質的な成長」（Underlying Growth）の概念を採用しております。

「実質的な成長」は、当年度と前年度（四半期もしくは年間）の業績を共通の基準で比較するものであり、マネジメントによる業績評価に使用されています。これら共通の基準で比較される業績は、年間計画レートをを用いた為替レートを一定として、事業等の売却影響およびその他の非定常的もしくは特別な事象に基づく影響、本業に起因しない事象（非中核）による影響を控除し算定されます。当社は、この「実質的な成長」が、事業活動のパフォーマンスを表す共通の基準を提供するため、投資家に有用であると考えています。なお、本指標は、国際会計基準(IFRS)に準拠したものではありません。

当社は、「Underlying Revenue Growth」（実質的な売上収益の成長）、「Underlying Core Operating Profit Growth」（実質的なCore営業利益の成長）および「Underlying Core EPS Growth」（実質的なCore EPSの成長）を重要な財務指標としています。

実質的な売上収益は、為替レートを一定として、財務ベースの売上収益に、報告期間における非定常的な事象に基づく影響および事業等の売却影響を調整して計算します。

Core売上収益は、売上収益から、重要性のある本業に起因しない（非中核）事象による影響を控除して算出します。

実質的なCore営業利益は、為替レートを一定として、Core営業利益（以下に定義）に、報告期間における事業等の売却影響を調整して計算します。

実質的なCore EPSは、為替レートを一定として、純利益から、事業等の売却影響、およびCore EPS（以下に定義）の算出において控除された項目を調整した後、比較年度末の自己株式控除後の発行済株式総数で除して算定します。

Core売上収益は、売上収益から、重要性のある本業に起因しない（非中核）事象による影響を控除して算出します。

Core営業利益は、純利益から、法人所得税費用、持分法による投資損益、金融損益、その他の営業収益およびその他の営業費用、製品に係る無形資産償却費及び減損損失を控除して算出します。その他、非定常的な項目、企業買収に係る会計処理の影響、買収関連費用など、本業に起因しない（非中核）事象による影響を調整します。

Core EPSは、純利益から、Core営業利益の算出において控除された項目と営業利益以下の各科目のうち、重要性のある、非定常的もしくは特別な事象に基づく影響、本業に起因しない（非中核）事象による影響を調整します。これらには、条件付対価に係る公正価値変動（時間的価値の変動を含む）影響などが含まれます。さらに、これらの調整項目に係る税金影響を控除した後、報告期間の自己株式控除後の平均発行済株式総数で除して算定します。

「フリー・キャッシュ・フロー」の定義



当社が、フリー・キャッシュ・フローをお示しする理由は、証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行うに際して頻繁に用いられる流動性についての同様の指標として、本指標が投資家の皆様にとって有用であると考えているためです。本指標は、当社の経営陣が特に流動性要件を満たす能力及び資本配分方針をサポートする能力に関連している、当社の流動性及びキャッシュ・フローを評価する際にも使用しています。また、本指標は、投資家の理解にとって、当社の非中核事業及び投資ポートフォリオの戦略的な売却がどのようにキャッシュ・フローや流動性に貢献しているかを理解するうえで有用であると考えています。

当社のフリー・キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローから、有形固定資産の取得、無形資産の取得、投資の取得及び即時的または一般的な業務用に使えないいかなるその他の現金を除き、有形固定資産の売却による収入、投資の売却・償還による収入及び事業売却による収入（売却した現金及び現金同等物の純額）を含むように調整しています。

フリー・キャッシュ・フローの有益性には、一例として、以下の限界があります。すなわち、(i) 製薬業界における他社を含む、他社において用いられている類似の名称を付した財務指標との比較可能性に欠け得るものです、(ii) 当社の、資本の使用又は配分を必要とする現在及び将来の契約上その他のコミットメントの影響は反映されていません、(iii) 投資の売却・償還による収入及び事業売却による収入（売却した現金及び現金同等物の純額）は、非中核事業・資産の売却という現在の戦略の実行を反映していますが、中核事業となる継続的な事業からの収入は反映していません。フリー・キャッシュ・フローは、IFRSに基づく指標である営業活動によるキャッシュ・フロー及びその他の流動性指標と切り離して考慮されてはならず、また、これらの代替ととらえられてはならないものです。IFRSに準拠した指標の中で、フリー・キャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローが最も類似します。

「EBITDA」、「調整後EBITDA」、「純有利子負債」の定義



EBITDA及び調整後EBITDA

当社がEBITDA及び調整後EBITDAをお示しする理由は、これらの指標が証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行う際に頻繁に用いられるものであり、有用と考えられることにあります。また、調整後EBITDAは、変化に富み予測が困難であるが故に経営とは無関係な諸要素により不透明となり、業績に実質的な影響を与え得る、また、継続的に期間毎の業績を評価することに困難にし得る事業全体の動向を、投資家の皆様が把握する際に有用と考えられます。

EBITDA及び調整後EBITDAは、IFRSに基づく指標である営業利益及び当期利益等の業績指標と切り離して考慮されてはならず、また、これらの代替ととらえられてはならないものです。これらの指標は、他社において示されている類似の名称を付した財務指標との比較可能性に欠け得ます。

EBITDA及び調整後EBITDAの有益性には、一例として、以下の限界があります。すなわち、(i)製薬業界における他社を含む、他社において用いられている類似の名称を付した財務指標との比較可能性に欠け得るものです。また、(ii)業績評価において重視され得る一定の財務情報、例えば、企業買収や無形資産の償却による影響を除外しております。さらに、(iii)一定期間において継続して生じ得る一定の事項を除外しており、また、(iv)投資家において当社の長期的な観点からの経営には無関係ととらえる事項、例えば、事業売却の影響等を必ずしも除外しておりません。これらのIFRSに準拠しない財務指標は、IFRSに準拠する当期利益（損失）と同視してはならず、また、これらに代わるものにとらえてはなりません。投資家の皆様におかれましては、当社の財務諸表全体を把握し、当社業績、事業価値及び収益予想を評価する基礎となる指標としてはIFRS準拠財務指標に依拠し、また、EBITDA及び調整後EBITDAは補足的な指標として用いられるようお願い申し上げます。

当社においては、EBITDAは、法人所得税費用、減価償却費及び償却費、並びに純支払利息控除前の連結当期利益を指します。また、調整後EBITDAは、減損損失、その他の営業収益・費用（減価償却費及び償却費を除く）、金融収益・費用（純支払利息を除く）、持分法による投資損益及び企業結合会計影響や取引関連費用などの当社の中核事業に関連しないその他の項目を除外するように調整されたEBITDAを指します。

IFRSに準拠した指標の中では当期利益が最も類似します。IFRSにおいて最も類似した指標との照合については、本プレゼンテーションの51-52ページをご参照下さい。

純有利子負債

当社が、純有利子負債をお示しする理由は、当社の経営陣が、当社の負債、現金及び現金同等物をモニター及び分析するために本指標を使用し、また当社のレバレッジをモニターするために本指標を調整後EBITDAと併せて使用しており、投資家の皆様にとって有用であると考えているためです。また、負債についての同様の指標が、証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行う際に頻繁に用いられるものであると考えています。

当社の純有利子負債は、以下により算出しています。まず、連結財政状態計算書に記載されている社債及び借入金の流動部分と非流動部分合計を計算します。その上で、(i) 期初に残存する外貨建て負債を直近12か月の期中平均レートを用いて換算し、報告期間中に計上した新規の外貨建て負債および償還した既存の外貨建て負債については対応するスポットレートを用いて換算するものであり、当社の経営陣が当社のレバレッジをモニターするために使用する方法論を反映しています。また、(ii) S&Pグローバル・レーティング・ジャパンの格付手法に基づく株式に似た特徴を評価して、S&Pグローバル・レーティング・ジャパンが2019年6月に発行したハイブリッド債（劣後債）の元本総額5,000億円に対して、50%のエクイティクレジットを適用しています。この数字から現金及び現金同等物及びワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関係して当社が第三者に代わり一時的に保有していた現金を控除し、純有利子負債を算出しています。

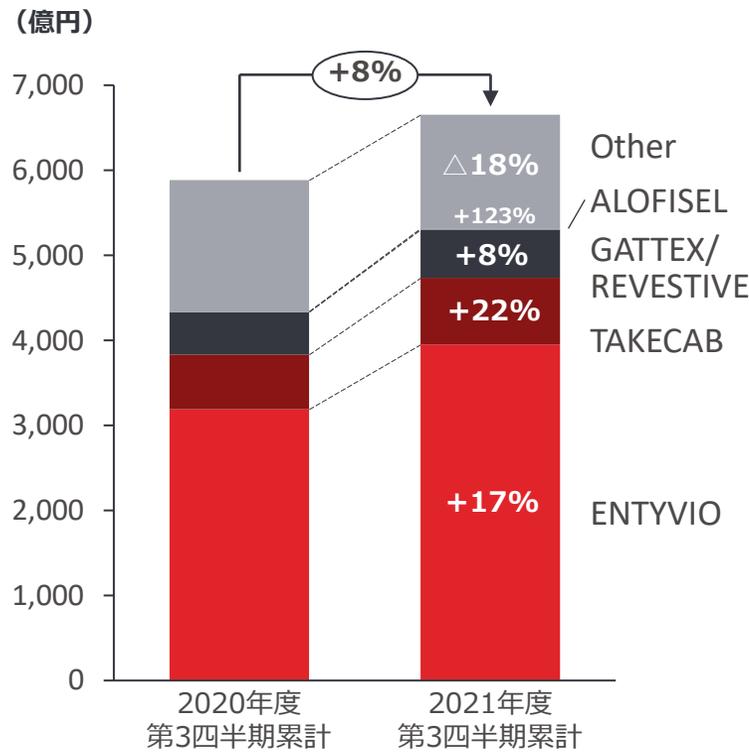
純有利子負債の有益性には、一例として、以下の限界があります。すなわち、(i) 製薬業界における他社を含む、他社において用いられている類似の名称を付した財務指標との比較可能性に欠け得るものです、(ii) 当社の負債に支払われる利息の金額を反映していません、(iii) 当社の負債に対する当社の前払い能力又は償還能力の制限を反映していません、(iv) 当社が現金同等物を現金に換金する際に、ある通貨から他の通貨に換金する際に、又は当社グループ内で現金を移動する際に、当社が負担する可能性のある手数料、費用又はその他の費用を反映していません、(v) 有利子負債には、当社のローン契約と整合性のある平均為替レートが適用されますが、これは当社がある通貨を他の通貨に換金することができる実際の為替レートを反映していません、(vi) 当社は合理的であると考えていますが、当社の劣後債の金額はそれらの負債性に影響を及ぼさないことから、持分法による投資利益を反映しています。純有利子負債は、IFRSに基づく指標である社債、借入金及びその他の負債指標と切り離して考慮されてはならず、また、これらの代替ととらえられてはならないものです。

IFRSに準拠した指標の中で、純有利子負債は社債と借入金最も類似します。IFRSにおいて最も類似した指標との照合については、本プレゼンテーションの50ページをご参照下さい。

消化器系疾患フランチャイズの成長はENTYVIOが牽引



消化器系疾患 ポートフォリオ 2021年度第3四半期累計売上収益



絶対値は国際会計基準（IFRS）財務ベース、対前年比は実質的な成長率¹



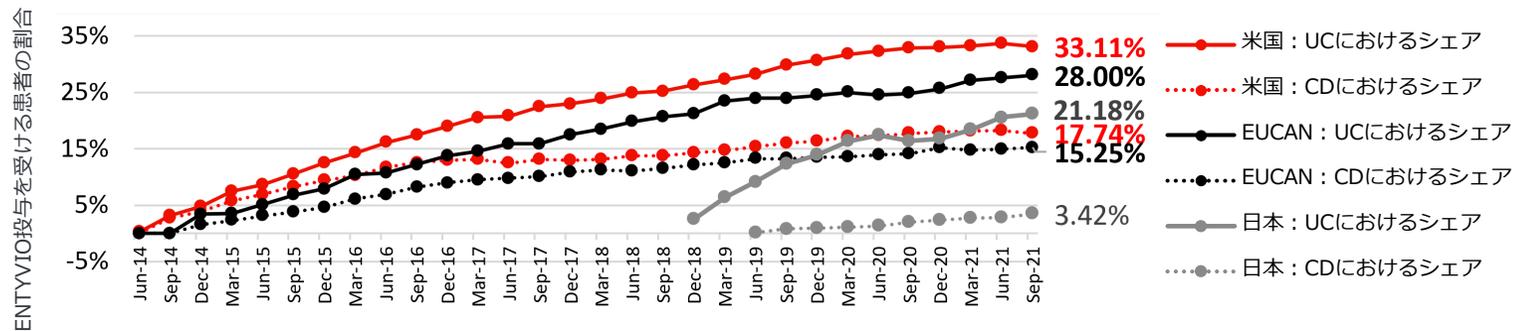
- PIP計画を満たしたことに基づき、欧州委員会が**2年間のデータ保護期間延長**を承認。欧州におけるデータ保護期間は、2022年9月から2024年9月へ延長



- 2021年11月に日本で発売



- データ保護期間満了のタイミングでのバイオシミラー上市を想定しない
- 米国**：上市後8年目を迎えても全体の成長率は2021年度第3四半期累計で対前年同期+16%、IBD市場全体の生物学的製剤ナイーブおよび新規潰瘍性大腸炎患者さんの初回治療においてもリーダーシップを維持
- 欧州・カナダ**：2021年度第3四半期累計は対前年同期+17%の力強い成長。皮下投与製剤が継続的に上市され（計25カ国）、皮下投与製剤の力強い立ち上がりがさらなる成長を推進。2022年1月に、欧州において活動性の慢性回腸嚢炎の治療薬として承認取得
- 日本**：第3四半期累計の成長率は+31%、中国を含む**成長新興国市場**：+34%成長



EUCAN：欧州・カナダ

出所：米国：SHA Medical and Pharmacy Claims data（2021年9月）；EUCAN：社内推定；日本：JMDC（2021年9月）

2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032

データ保護期間
満了の予想時期



- バイオシミラーの参入時期に関するこれまでの当社想定は、データ保護期間満了のタイミングに基づいていた

当社は、製剤、用法用量、製造法など、Entyvioのさまざまな側面にかかる特許を取得している。それらの特許は米国において2032年に満了する予定

- 2032年以前に上市を試みるバイオシミラーは、全ての関連特許の侵害の可能性、もしくはそれら特許の法的な有効性の確認が必要

米国でバイオシミラーに対する特許訴訟が発生した場合に起こりうるシナリオ²

臨床開発
タイムライン

バイオシミラーの臨床試験には
3~4年以上かかる見込み

審査期間
(約1年)

- 現在までに進行中のバイオシミラーの臨床試験は確認していない

法的手続き

訴訟前
手続き

米国でのバイオシミラーに
対する訴訟手続きでは、
通常3~5年を要する

- 米国では、FDAが関連するaBLAを受理することでバイオシミラーに対する訴訟手続きが開始される

FDA = 米国食品医薬品局

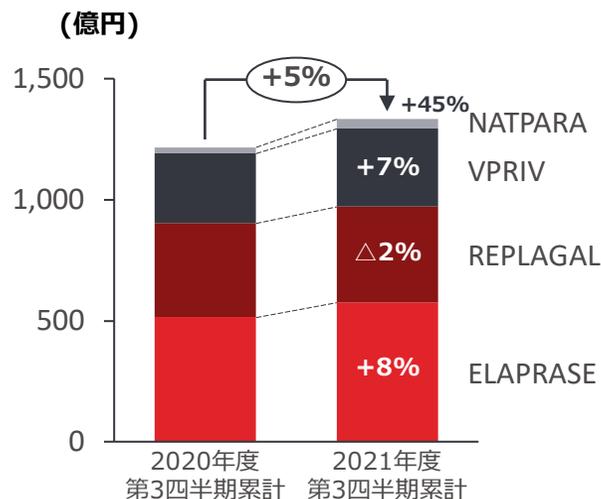
aBLA = 簡易生物製剤承認申請 (abbreviated Biologics License Application)

希少疾患領域の売上高は計画通り、 現在、グローバルで3,000例の患者さんがTAKHZYROで治療中



希少代謝性疾患

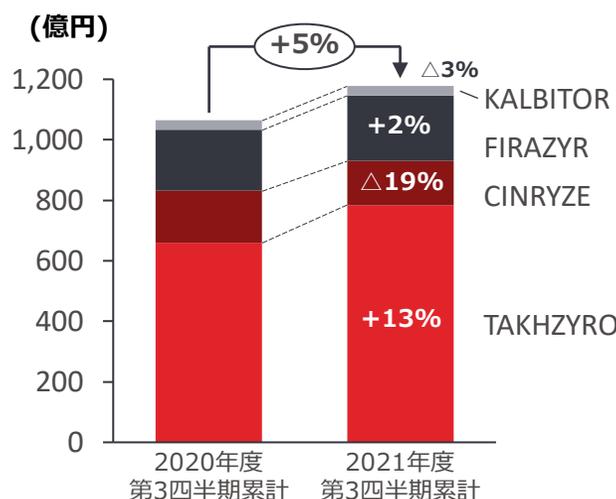
2021年度第3四半期累計売上収益



- 新規患者の獲得によるVPRIVとELAPRASEの力強い売上高を実現。REPLAGALは、国内における販売権買戻しのため在庫の期ずれが発生。中国においては、REPLAGALが2021年国家医療保険償還医薬品リスト（NRDL）に追加
- NATPARAは、欧州では引き続き販売されている。米国での回収の根本的な原因に対処するためのPAS（Prior Approval Supplement）は、米国食品医薬品局（FDA）に受領され、現在審査中。2022年4月よりも前に米国市場で再上市することはないと想定

遺伝性血管性浮腫

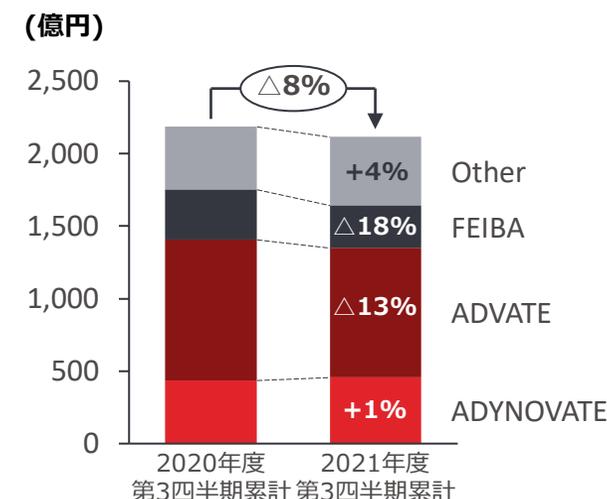
2021年度第3四半期累計売上収益



- TAKHZYROは上市している36カ国で力強い立ち上がりを示し成長、グローバルで3,000例の患者さんが治療を受けた。2.5年にわたり確認された高い有効性、長期の安全性プロファイル、治療負担の軽減により、グローバル市場のマーケットリーダーとなる
- 中国の2021年NRDLにFirazyrが追加

希少血液疾患

2021年度第3四半期累計売上収益

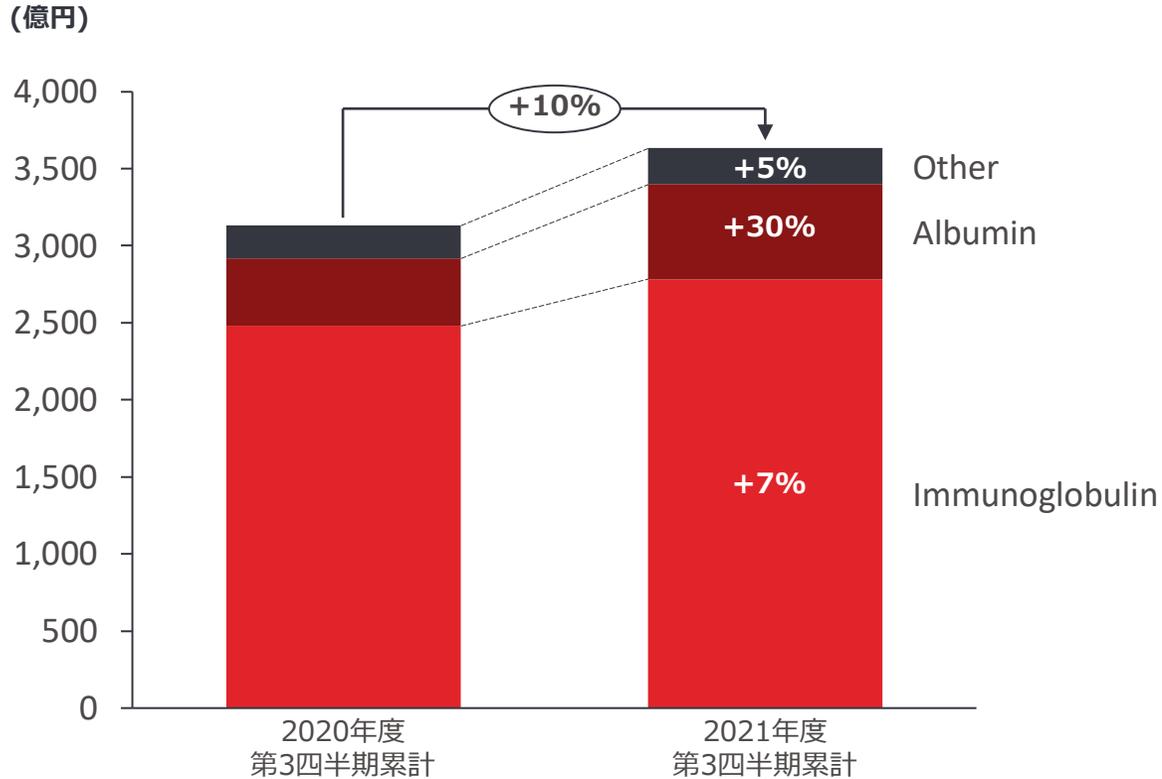


- 希少血液疾患における各国での競合状況は想定内
- 2021年第3四半期：ポーランドにおける前治療歴なしの患者さん（PUP）に対するADVATEの入札、およびカナダにおけるADYNOVATEの入札で成功

血漿分画製剤事業は、通期予想の達成に向けて順調に進捗



血漿分画製剤（免疫疾患）ポートフォリオ 2021年度第3四半期累計売上収益



絶対値は国際会計基準（IFRS）財務ベース、対前年比は実質的な成長率¹

GAMMAGARD LIQUID
[Immune Globulin Intravenous (Human)] 10%

HyQvia
Human Normal Immunoglobulin (10%)
Recombinant Human Hyaluronidase

Cuvitru
[Immune Globulin Subcutaneous (Human)] 20%

Flexbumin
(Human Albumin)

- 免疫グロブリン製剤の実質的な成長率は、皮下注用製剤ポートフォリオの売上拡大が継続したことにより、第3四半期累計で+7%の成長、2021年度通期予想5-10%成長には引き続き自信
- 中国において強く成長しているFlexbuminの需要により、アルブミンポートフォリオは+30%と力強い成長を示した

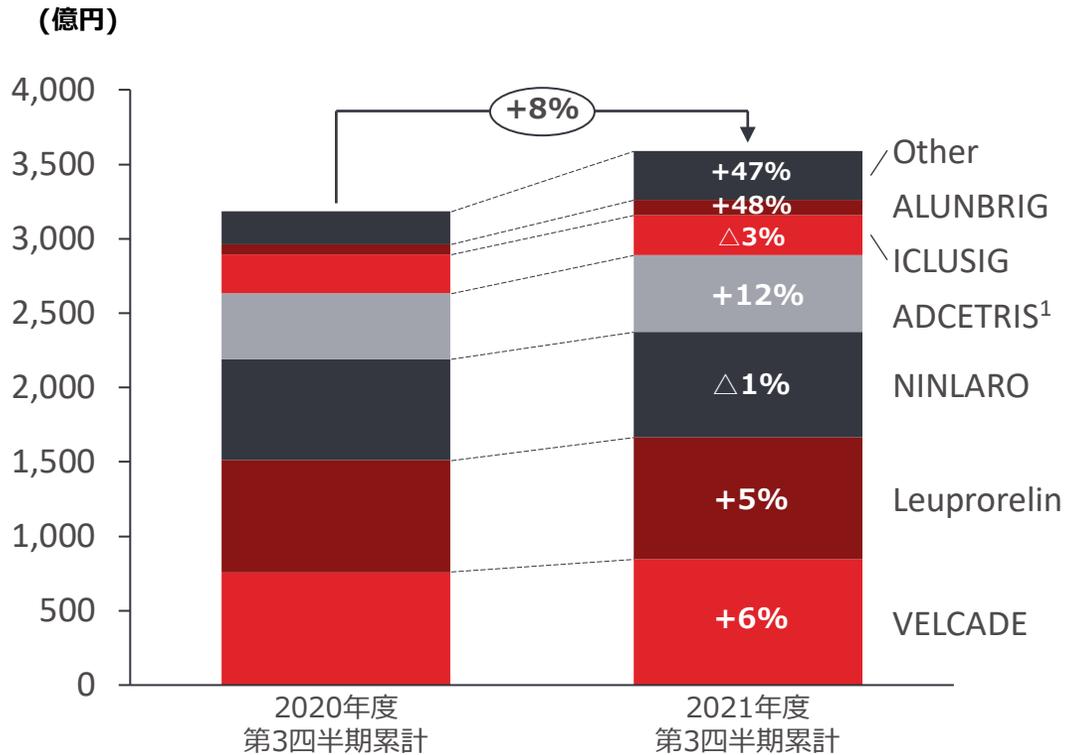
血漿収集センターへの投資継続

- 2021年12月31日時点で血漿収集拠点は200センター（米国で167、欧州で33のセンターを保有）
- 血漿分画製剤の供給および製造能力を2023年度末²までに65%以上増加させるために、新規センターへの投資およびすべてのネットワークにおける運営効率化といった戦略を着実に実行

力強いオンコロジーポートフォリオの適応拡大が継続



オンコロジー ポートフォリオ 2021年度第3四半期累計売上収益



絶対値は国際会計基準（IFRS）財務ベース、対前年比は実質的な成長率²



- 米国での上市（2021年9月）後の立ち上がりは順調、新規で投与された患者さんの数は想定を上回り、新たな標的治療薬の選択肢として医師からも高く評価



- 国内における力強い成長は、再発・難治性対象での持続的なパフォーマンスを維持しながら、維持療法における継続した立ち上がりが牽引
- 中国において、再発・難治性多発性骨髄腫での成長が継続



- 一次治療での立ち上がりや新規上市が継続、現在30カ国以上で一次治療での保険償還が認められる



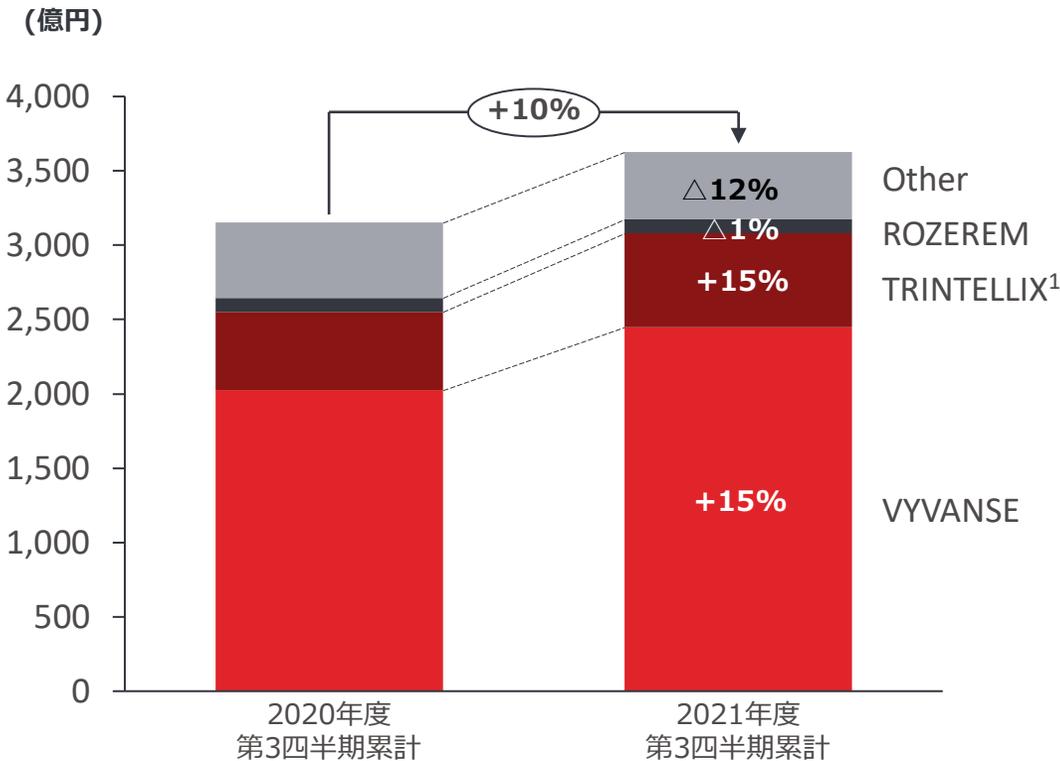
- 米国において、2020年12月に、少なくとも2種類のチロシンキナーゼ阻害剤に抵抗性または不耐容の慢性期の慢性骨髄性白血病（CP-CML）の適応症で承認を取得したことにより、新規患者さんの開始および用量レジメンにおいて引き続き成長

1. ADCETRISはSeagen社より導入；北米外での開発・販売権を保有。
2. 定義は30ページをご参照下さい。
疾患名の略語用語集は参考資料をご参照下さい。

VYVANSEは前年におけるCOVID-19の影響からリバウンド

ニューロサイエンス ポートフォリオ

2021年度第3四半期累計売上収益



絶対値は国際会計基準（IFRS）財務ベース、対前年比は実質的な成長率²



- VYVANSEの力強い成長は拡大している成人市場への継続した投資を反映し、初回治療の選択肢として2021年度にコロナ禍以前の水準を超えて再加速
- 米国において小児要請書への対応が完了し、米国食品医薬品局（FDA）から承認を取得。その結果、6ヶ月間の追加のデータ保護期間が得られ、米国においては2023年8月後半に独占販売期間の終了を見込む



- 患者さんの流れおよび大うつ病市場がコロナ禍以前の水準まで回復してきたため、処方につながるプロモーション活動に再度従事することで、その効果が時間の経過とともに高まることを期待
- 国内において、TRINTELLIXの処方医の数が、2020年度第4四半期と比較して約27%増加。初回治療としてTRINTELLIXを選択する精神科医が増加したため、より強力なポジショニングが確立されつつある

2021年度 第3四半期累計（4-12月）の財務ベース実績



(億円)	2020年度 第3四半期累計	2021年度 第3四半期累計	対前年同期	
売上収益	24,275	26,957	+2,682	+11.0%
売上原価	△7,409	△7,985	△576	△7.8%
売上総利益	16,867	18,973	+2,106	+12.5%
対売上収益比率	69.5%	70.4%		+0.9pp
販売費及び一般管理費	△6,413	△6,629	△217	△3.4%
研究開発費	△3,425	△3,825	△399	△11.7%
製品に係る無形資産償却費	△3,046	△3,091	△45	△1.5%
製品に係る無形資産減損損失	△30	△146	△116	△382.9%
その他の営業収益	1,185	343	△843	△71.1%
その他の営業費用	△1,551	△1,000	+551	+35.5%
営業利益	3,587	4,625	+1,037	+28.9%
対売上収益比率	14.8%	17.2%		+2.4pp
金融収益	580	429	△151	△26.0%
金融費用	△1,734	△1,435	+298	+17.2%
持分法による投資損益	△80	△53	+28	+34.4%
税引前当期利益	2,354	3,566	+1,213	+51.5%
当期利益（親会社の所有者持分）	1,789	2,414	+625	+34.9%
非支配持分	1	1	+0	+3.7%
当期利益	1,790	2,415	+625	+34.9%
基本的EPS（円）	115	154	+40	+34.5%

2021年度 第3四半期（10-12月）の財務ベース実績



(億円)	2020年度 第3四半期 (10-12月)	2021年度 第3四半期 (10-12月)	対前年同期	
売上収益	8,368	9,013	+645	+7.7%
売上原価	△2,531	△2,814	△283	△11.2%
売上総利益	5,836	6,199	+363	+6.2%
対売上収益比率	69.7%	68.8%		△1.0pp
販売費及び一般管理費	△2,226	△2,311	△84	△3.8%
研究開発費	△1,176	△1,284	△108	△9.2%
製品に係る無形資産償却費	△986	△1,050	△64	△6.5%
製品に係る無形資産減損損失	△9	△131	△122	△1,363.5%
その他の営業収益	491	147	△343	△70.0%
その他の営業費用	△499	△406	+93	+18.6%
営業利益	1,431	1,165	△267	△18.6%
対売上収益比率	17.1%	12.9%		△4.2pp
金融収益	284	41	△243	△85.4%
金融費用	△627	△467	+160	+25.5%
持分法による投資損益	9	△17	△27	-
税引前当期利益	1,098	722	△376	△34.2%
当期利益（親会社の所有者持分）	924	578	△346	△37.5%
非支配持分	1	1	△0	△35.0%
当期利益	924	578	△346	△37.4%
基本的EPS（円）	59	37	△22	△37.5%

2021年度 第3四半期累計のCoreベース実績¹



(億円)	2020年度 第3四半期累計	2021年度 第3四半期累計	対前年同期
売上収益	24,275	25,627	+5.6%
売上総利益率	72.5%	70.2%	△2.4pp
営業経費	△9,799	△10,400	△6.1%
対売上収益比率	40.4%	40.6%	△0.2pp
Core営業利益	7,806	7,579	△2.9%
Core営業利益率	32.2%	29.6%	△2.6pp
Core税率	24.1%	22.5%	+1.7pp
Core当期利益	5,198	5,215	+0.3%
Core EPS (円)	333	333	△0.0%

1. 調整表は45、47ページをご参照下さい。

2021年度 第3四半期（10-12月）のCoreベース実績¹



（億円）	2020年度 第3四半期 （10-12月）	2021年度 第3四半期 （10-12月）	対前年同期
売上収益	8,368	9,013	+7.7%
売上総利益率	72.9%	70.0%	△2.9pp
営業経費	△3,371	△3,585	△6.4%
対売上収益比率	40.3%	39.8%	+0.5pp
Core営業利益	2,731	2,722	△0.3%
Core営業利益率	32.6%	30.2%	△2.4pp
Core税率	27.2%	23.5%	+3.8pp
Core当期利益	1,743	1,856	+6.5%
Core EPS（円）	111	119	+6.3%

2021年度 第3四半期累計

財務ベース売上収益からCore売上収益/実質的な売上収益への調整表



(億円)	2020年度 第3四半期累計	2021年度 第3四半期累計	対前年同期	
			増減額	増減率
売上収益	24,275	26,957	+2,682	+11.0%
日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ売却 ²	-	△1,330	△1,330	△5.5pp
Core売上収益	24,275	25,627	+1,351	+5.6%
為替影響 ¹				△4.8pp
事業等の売却影響 ²				+6.3pp
地域ポートフォリオ				+4.6pp
日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ				+1.0pp
TACHOSIL				+0.5pp
その他				+0.1pp
実質的な売上収益の成長				+7.1%

1. 為替影響は2021年度および2020年度に計画レートを適用して算出しています。

2. 主な調整項目は以下の通りです。

- 2020年11月に売却が完了したアジア太平洋における一部の一般用医薬品および非中核資産に係る2020年度第3四半期累計の売上収益を控除して調整しております。
- 2020年12月に売却が完了した主に欧州における一部の非中核資産である医療用医薬品に係る2020年度第3四半期累計の売上収益を控除して調整しております。
- 2021年1月に売却が完了した中南米における一部の一般用医薬品および非中核資産に係る2020年度第3四半期累計の売上収益を控除して調整しております。
- 2021年1月に売却が完了した「TachoSil」（手術用パッチ剤）の2020年度第3四半期累計の売上を控除して調整しております。
- 2021年3月に売却が完了した主に欧州における一部の一般用医薬品および非中核資産に係る2020年度第3四半期累計の売上収益を控除して調整しております。
- 2021年3月に売却が完了した従来子会社であった武田コンシューマーヘルスケア株式会社の2020年度第3四半期累計の売上収益を控除して調整しております。
- 2021年4月1日に売却が完了した日本における糖尿病治療剤ポートフォリオ（ネシーナ錠、リオベル配合錠、イニシンク配合錠、ザファテック錠）に係る2020年度第3四半期累計の売上を控除して調整しております。また、売却完了により計上された非定期的な譲渡価額1,330億円は2021年度第3四半期累計の売上収益から控除して調整しております。
- 売却が公表され、当年度上期中の売却完了を見込んでいた中国における一部の非中核資産である医療用医薬品に係る2021年度第3四半期累計および2020年度第3四半期累計の売上収益を控除して調整しております。本件は、2021年度下期中に売却完了する見込みです。

2021年度 第3四半期（10-12月）

財務ベース売上収益からCore売上収益/実質的な売上収益への調整表



(億円)	2020年度 第3四半期 (10-12月)	2021年度 第3四半期 (10-12月)	対前年同期	
売上収益	8,368	9,013	+645	+7.7%
日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ売却 ²	-	-	-	-
Core売上収益	8,368	9,013	+645	+7.7%
為替影響 ¹				△6.4pp
事業等の売却影響 ²				+6.1pp
地域ポートフォリオ				+4.5pp
日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ				+1.1pp
TACHOSIL				+0.6pp
その他				+0.0pp
実質的な売上収益の成長				+7.5%

1. 為替影響は2021年度および2020年度に計画レートを適用して算出しています。

2. 主な調整項目は以下の通りです。

- 2020年11月に売却が完了したアジア太平洋における一部の一般用医薬品および非中核資産に係る2020年度第3四半期の売上収益を控除して調整しております。
- 2020年12月に売却が完了した主に欧州における一部の非中核資産である医療用医薬品に係る2020年度第3四半期の売上収益を控除して調整しております。
- 2021年1月に売却が完了した中南米における一部の一般用医薬品および非中核資産に係る2020年度第3四半期の売上収益を控除して調整しております。
- 2021年1月に売却が完了した「TachoSil」（手術用パッチ剤）の2020年度第3四半期の売上を控除して調整しております。
- 2021年3月に売却が完了した主に欧州における一部の一般用医薬品および非中核資産に係る2020年度第3四半期の売上収益を控除して調整しております。
- 2021年3月に売却が完了した従来子会社であった武田コンシューマーヘルスケア株式会社の2020年度第3四半期の売上収益を控除して調整しております。
- 2021年4月1日に売却が完了した日本における糖尿病治療剤ポートフォリオ（ネシーナ錠、リオベル配合錠、イニシンク配合錠、ザファテック錠）に係る2020年度第3四半期の売上を控除して調整しております。また、売却完了により計上された非定期的な譲渡価額1,330億円は2021年度第1四半期の売上収益から控除して調整しております。
- 売却が公表され、当年度上期中の売却完了を見込んでいた中国における一部の非中核資産である医療用医薬品に係る2021年度第3四半期と2020年度第3四半期の売上収益を控除して調整しております。本件は、当年度下期に売却完了する見込みです。

2021年度 第3四半期累計

財務ベースからCore/Underlying Coreへの調整表



(億円)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整							CORE	Coreから実質ベースへの調整		Underlying Growth (実質ベースの成長)
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	その他の営業収益/費用	日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ売却	アイルランド税務評価 ¹	テバ合併会社に係る会計処理影響	その他		為替影響	事業等の売却影響	
売上収益	26,957				△1,330				25,627	△1,121	△140	+7.1 %
売上原価	△7,985				6			331	△7,647	354	41	
売上総利益	18,973				△1,324			331	17,980	△767	△98	
販売費及び一般管理費	△6,629				10			28	△6,591	298	0	
研究開発費	△3,825							16	△3,809	161	△0	
製品に係る無形資産償却費	△3,091	3,091							-			
製品に係る無形資産減損損失	△146		146						-			
その他の営業収益	343			△332				△11	-			
その他の営業費用	△1,000			1,000					-			
営業利益	4,625	3,091	146	669	△1,314			△11	7,579	△307	△98	+5.4 %
対売上収益比率	17.2%								29.6%			29.4 % ²
金融損益	△1,006							116	△890	83		
持分法損益	△53							66	38	2		
税引前当期利益	3,566	3,091	146	669	△1,314			55	6,727	△222	△98	
法人所得税費用	△1,151	△689	△36	△175	402	646		△17	△1,511	50	29	
非支配持分	△1								△1	△0	0	
当期利益	2,414	2,402	109	494	△912	646		38	5,215	△172	△69	
EPS (円)	154								333	△10	△4	+9.9 %
株式数 (百万)	1,567								1,567			1,563

1. 2014年にShire社がAbbVie社からの買収申し出の取下げに関連して受領した違約金に対するアイルランドでの課税を巡る税務評価から生じた税務費用646億円と関連する税務便益5億円の純額です。
2. 実質的なCore営業利益率

2021年度 第3四半期（10-12月）

財務ベースからCore/Underlying Coreへの調整表



(億円)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整							CORE	Coreから実質ベースへの調整		Underlying Growth (実質ベースの成長)		
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	その他の営業収益/費用	日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ売却	アイルランド税務評価 ¹	テバ合併会社に係る会計処理影響	その他		為替影響	事業等の売却影響			
売上収益	9,013								9,013	△473	△51	+7.5 %		
売上原価	△2,814							108	△2,706	136	15			
売上総利益	6,199							108	6,307	△337	△36			
販売費及び一般管理費	△2,311							7	△2,304	128	△0			
研究開発費	△1,284							3	△1,281	74	△0			
製品に係る無形資産償却費	△1,050	1,050							-					
製品に係る無形資産減損損失	△131		131						-					
その他の営業収益	147			△144				△11	7	-				
その他の営業費用	△406			406					-					
営業利益	1,165	1,050	131	262				△11	125	2,722	△135	△36	+3.7 %	
対売上収益比率	12.9%									30.2%			30.1 % ²	
金融損益	△426								120	△306	31			
持分法損益	△17								66	△40	9			
税引前当期利益	722	1,050	131	262				55	205	2,426	△103	△36		
法人所得税費用	△144	△234	△31	△60				9	△17	△92	△569	24	11	
非支配持分	△1									△1	0	0		
当期利益	578	816	100	202				9	38	113	1,856	△79	△26	
EPS (円)	37										119	△5	△2	+11.5 %
株式数 (百万)	1,565										1,565			1,563

1. 2014年にShire社がAbbVie社からの買収申し出の取下げに関連して受領した違約金に対するアイルランドでの課税を巡る税務評価から生じた税務費用に係る利息です。

2. 実質的なCore営業利益率

2020年度 第3四半期累計

財務ベースからCore/Underlying Coreへの調整表



(億円)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整					CORE	Coreから実質ベースへの調整		Underlying Growth (実質ベースの成長)
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	その他の営業収益/費用	テバ合併会社に係る会計処理影響	その他		為替影響	事業等の売却影響	
売上収益	24,275						24,275	32	△1,551	+1.1 %
売上原価	△7,409					738	△6,670	△72	439	
売上総利益	16,867					738	17,605	△40	△1,113	
販売費及び一般管理費	△6,413			0		△3	△6,415	15	124	
研究開発費	△3,425			△4		45	△3,384	9	6	
製品に係る無形資産償却費	△3,046	3,046					-			
製品に係る無形資産減損損失	△30		30				-			
その他の営業収益	1,185			△573	△11	△602	-			
その他の営業費用	△1,551			1,364		187	-			
営業利益	3,587	3,046	30	789	△11	366	7,806	△16	△983	+8.5 %
対売上収益比率	14.8%						32.2%			29.9 % ¹
金融損益	△1,154					172	△982	61	△0	
持分法損益	△80					162	30	△0	△0	
税引前当期利益	2,354	3,046	30	789	151	486	6,855	45	△983	
法人所得税費用	△563	△685	△6	△141	△46	△214	△1,655	△11	274	
非支配持分	△1						△1	0	0	
当期利益	1,789	2,361	25	648	105	271	5,198	34	△709	
EPS (円)	115						333	3	△45	+4.5 %
株式数 (百万)	1,562						1,562			1,558

1. 実質的なCore営業利益率

2020年度 第3四半期（10-12月）

財務ベースからCore/Underlying Coreへの調整表



(億円)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整					CORE	Coreから実質ベースへの調整		Underlying Growth (実質ベースの成長)
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	その他の営業収益/費用	テバ合併会社に係る会計処理影響	その他		為替影響	事業等の売却影響	
売上収益	8,368						8,368	59	△529	+2.1 %
売上原価	△2,531					266	△2,266	5	153	
売上総利益	5,836					266	6,102	64	△376	
販売費及び一般管理費	△2,226			0		3	△2,223	△5	46	
研究開発費	△1,176			△1		29	△1,148	△0	2	
製品に係る無形資産償却費	△986	986					-			
製品に係る無形資産減損損失	△9		9				-			
その他の営業収益	491			△487	△4		-			
その他の営業費用	△499			498		1	-			
営業利益	1,431	986	9	9	△4	299	2,731	58	△328	+22.6 %
対売上収益比率	17.1%						32.6%			31.2 % ¹
金融損益	△343					△0	△343	26	△0	
持分法損益	9				52	△52	9	△0	△0	
税引前当期利益	1,098	986	9	9	48	247	2,397	84	△328	
法人所得税費用	△174	△262	△2	△6	△15	△194	△653	△20	92	
非支配持分	△1						△1	0	0	
当期利益	924	723	7	3	34	53	1,743	65	△236	
EPS (円)	59						111	5	△15	+62.8 %
株式数 (百万)	1,563						1,563			1,558

1. 実質的なCore営業利益率

フリー・キャッシュ・フロー



(億円)	2020年度 第3四半期累計		2021年度 第3四半期累計		対前年同期	
当期利益	1,790	2,415	+625	+34.9%		
減価償却費、償却費及び減損損失	4,304	4,455	+151			
運転資本増減（△は増加）	△489	412	+901			
法人税等の支払額	△1,747	△1,072	+675			
法人所得税等の還付及び還付加算金の受取額	284	61	△222			
その他	1,958	1,203	△755			
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,100	7,475	+1,376	+22.6%		
当社が第三者に代わり一時的に保有していたキャッシュの調整 ¹	-	470	+470			
有形固定資産の取得による支出	△750	△877	△126			
有形固定資産の売却による収入	428	4	△424			
無形資産の取得による支出	△495	△465	+29			
投資の取得による支出	△95	△76	+19			
投資の売却、償還による収入	737	161	△577			
事業売却による収入（処分した現金及び現金同等物控除後）	1,250	21	△1,228			
フリー・キャッシュ・フロー	7,175	6,713	△462	△6.4%		

1. 一時的なキャッシュの調整は、ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関係して当社が第三者に代わり一時的に保有していた現金を指します。

純有利子負債/調整後EBITDA



純有利子負債/調整後EBITDA倍率

(億円)	2021年度 第3四半期累計
現金および現金同等物 ¹	5,959
貸借対照表上の負債簿価	△43,549
ハイブリッド社債の50%資本性認定	2,500
為替調整 ²	1,172
有利子負債 ³	△39,877
純有利子負債	△33,919
純有利子負債/調整後EBITDA倍率	3.0 x
調整後EBITDA	11,441

キャッシュの純増減

(億円)	2020年度 第3四半期累計	2021年度 第3四半期累計	対前年同期	
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,100	7,475	+1,376	+22.6%
有形固定資産の取得による支出	△750	△877		
有形固定資産の売却による収入	428	4		
無形資産の取得による支出	△495	△465		
投資の取得による支出	△95	△76		
投資の売却、償還による収入	737	161		
事業取得による支出	-	△497		
事業売却による収入	1,250	21		
短期借入金及びコマーシャルペーパーの純増減額	△850	△0		
長期借入金の返済による支出	△7,925	△4,141		
社債の発行による収入	11,795	2,493		
社債の償還による支出	△5,966	△2,209		
利息の支払額	△842	△849		
配当金の支払額	△2,747	△2,730		
その他	△721	△824		
現金の増減額 (△は減少)	△81	△2,514	△2,433	△2,999.7%

1. 各期末日の翌日から1年以内に償還期限の到来する短期投資を含み、ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関係して当社が第三者に代わり保有していた現金を除く。
2. 期中平均レートで換算される調整後EBITDA計算と整合させるため、期初から期中残存する外貨建て負債を期中平均レートを用いて換算している。報告期間中に計上した新規の外貨建て負債および償還した既存の外貨建て負債については当該日の対応するスポットレートを用いて換算している。
3. 流動・非流動の社債および借入金。2019年6月に5,000億円のハイブリッド債を発行、格付け機関から認定された50%の資本性である2,500億円を負債から控除。また、負債簿価への資金性および非資金性調整を含む。非資金性の調整には、負債償却と為替影響を含む。

当期利益からEBITDA/調整後EBITDAへの調整

2021年度 第3四半期累計 対前年同期



(億円)	2020年度 第3四半期累計	2021年度 第3四半期累計	対前年同期	
当期利益	1,790	2,415	+625	+34.9%
法人所得税費用	563	1,151		
減価償却費及び償却費	4,203	4,309		
純支払利息	997	867		
EBITDA	7,553	8,742	+1,189	+15.7%
減損損失	101	147		
その他の営業収益・費用（減価償却費、償却費及びその他の非資金項目を除く）	264	595		
金融収益・費用（純支払利息を除く）	157	139		
持分法による投資損益	80	53		
その他の調整項目	1,023	△466		
COVID-19に係る非中核費用	88	72		
日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ売却	-	△1,314		
Shire社の買収で取得した棚卸資産の公正価値調整による利益への影響	680	248		
Shire社買収に係る費用	0	-		
その他の費用 ¹	255	529		
調整後EBITDA	9,179	9,209	+31	+0.3%

1. 株式報酬にかかる非資金性の費用とその他の一過性の非資金性の費用の調整を含みます。

当期利益からEBITDA/調整後EBITDA（LTM）への調整



(億円)	2020年度 通期 (4-3月)	2020年度 第3四半期累計 (4-12月)	2021年度 第3四半期累計 (4-12月)	2021年度 第3四半期 LTM ¹ (1-12月)
当期利益	3,762	1,790	2,415	4,387
法人所得税費用	△99	563	1,151	488
減価償却費及び償却費	5,597	4,203	4,309	5,703
純支払利息	1,290	997	867	1,160
EBITDA	10,549	7,553	8,742	11,738
減損損失	255	101	147	300
その他の営業収益・費用（減価償却費、償却費及びその他の非資金項目を除く）	△745	264	595	-413
金融収益・費用（純支払利息を除く）	141	157	139	123
持分法による投資損益	△1	80	53	-28
その他の調整項目	1,314	1,023	-466	-176
COVID-19に係る非中核費用	140	88	72	124
日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ売却	-	-	-1,314	-1,314
Shire社の買収で取得した棚卸資産の公正価値調整による利益への影響	794	680	248	361
Shire社買収に係る費用	19	0	-	19
その他の費用 ²	361	255	529	635
調整後EBITDA	11,513	9,179	9,209	11,544
売却した製品に係るEBITDA ³				-103
調整後EBITDA（LTM）				11,441

1. 2021年12月31日までの過去12ヶ月（LTM: Last Twelve Months）、2020年度通期から2020年度第3四半期累計を控除し、2021年度第3四半期累計を加算して算出しています。
2. 株式報酬にかかる非資金性の費用とその他の一過性の非資金性の費用の調整を含みます。
3. 調整後EBITDAのLTM算出にあたり、売却した製品に係るEBITDAを調整しています。

2021年度業績予想（詳細）



	(億円)	2021年度 前回公表予想 (2021年10月28日)	2021年度 今回公表予想 (2022年2月3日)	対前回公表予想		増減理由
財務ベース	売上収益	33,700	35,100	+1,400	+4.2%	実質的なビジネスの勢い、スパイクボックス追加接種分の国内への供給、 為替のプラス影響を反映
	売上原価	N/D ¹	N/D ¹			
	研究開発費	△5,220	△5,220	-	-	
	製品に係る無形資産償却費	△4,060	△4,120	△60	△1.5%	
	製品に係る無形資産減損損失	△500	△400	+100	+20.0%	直近までの累計実績と最新の通期の前提に基づき修正
	その他の営業収益	230	480	+250	+108.7%	事業等の売却およびその他の要因に関する前提に基づき修正
	その他の営業費用	△1,000	△1,500	△500	△50.0%	上市前製品の在庫の前提が大きくなったことを反映
	営業利益	4,880	5,150	+270	+5.5%	
	金融収益/費用	△1,300	△1,210	+90	+6.9%	
	税引前当期利益	3,520	3,850	+330	+9.4%	
	当期利益	1,843	2,425	+582	+31.6%	子会社等の法人組織再編に関連し前提税率を引き下げ
	EPS (円)	117	155	+38	+32.1%	
	Core営業利益 ²	9,300	9,700	+400	+4.3%	売上収益の上方修正を反映、一時的な売上原価の増加は営業経費管理の徹底 によって相殺
Core EPS (円)	394	416	+22	+5.6%		
円/米ドル (円)	108	111	+3			
円/ユーロ (円)	131	131	△0			

1. 非開示 (Not Disclosed)
2. 調整表は58ページをご参照下さい。

2021年度Core営業利益調整項目とキャッシュ・フロー予想 対実績



Core営業利益調整項目

(億円)	2021年度 第3四半期累計	2021年度 公表予想 (2022年2月3日)
製品に係る無形資産償却費	3,091	4,120
うち、シャイアー社買収に関連する無形資産償却費	2,522	3,350
製品に係る無形資産減損損失	146	400
その他の営業収益	△343	△480
その他の営業費用	1,000	1,500
日本の糖尿病治療剤の譲渡益（売上収益と経費のネット）	△1,314	△1,314
その他のCore営業利益の調整	375	324
うち、シャイアー社買収による棚卸資産の公正価値調整の売上原価処理	248	318
Core営業利益調整の合計	2,955	4,550

キャッシュ・フロー予想

(億円)	2021年度 第3四半期累計	2021年度 公表予想 (2022年2月3日)
フリー・キャッシュ・フロー (公表済みの事業売却を含む)	6,713	7,000 ~8,000
資本的支出（キャッシュ・フロー・ベース）	△1,342	△2,100 ~△2,600
有形固定資産の減価償却費及び無形資産償却費 (製品に係る無形資産償却費を除く)	△1,193	△1,500
調整後EBITDAに対する現金税金の税率 (事業売却を除く)	N/A	10%台半ば

2021年度修正業績予想 財務ベース営業利益からCore営業利益への調整表



(億円)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整					Core
		無形資産 に係る 償却費	無形資産 に係る 減損損失	その他の 営業収益/ 費用	日本の 糖尿病治療剤 ポートフォリオ 売却	その他	
売上収益	35,100				△1,330		33,770
売上原価					6	362	
売上総利益					△1,324	362	
販売費及び一般管理費					10	△38	
製品に係る無形資産償却費	△4,120	4,120					-
製品に係る無形資産減損損失	△400		400				-
その他の営業収益	480			△480			-
その他の営業費用	△1,500			1,500			-
営業利益	5,150	4,120	400	1,020	△1,314	324	9,700

為替レートおよび2021年度の為替感応度



	平均レート (円)			1%為替円安影響 (2022年1月~2022年3月) (億円)			
	2020年度 上期 (4-9月)	2021年度 上期 (4-9月)	2021年度 前提 (4-3月)	売上収益 (国際会計基準)	営業利益 (国際会計基準)	当期利益 (国際会計基準)	Core営業利益 (国際会計基準 に非準拠)
米ドル	106	111	111	+30.1	+5.2	+4.0	+11.8
ユーロ	122	131	131	+8.0	△6.2	△6.5	△4.4
ロシアルーブル	1.4	1.5	1.5	+1.1	+0.8	+0.8	+0.9
中国元	15.3	17.2	17.3	+2.2	+1.4	+1.4	+1.4
ブラジルリアル	19.7	20.7	20.7	+1.0	+0.5	+0.5	+0.6

当社のパイプラインは2021年度も継続した進捗



	作用機序	疾患/事業領域	予定されるイベント ¹	21年度		コメント	
ウェーブ1	Eohilia TAK-721	粘膜附着性局所 コルチコステロイド	消化器系疾患 好酸球性食道炎 米国承認	TBD	✗	審査完了報告通知 (CRL) の包括的な社内レビューが完了し、開発プログラム中止という困難な決定	
	Soticlestat TAK-935	CH24H阻害薬	ニューロサイエンス (神経精神疾患)	ドラベ症候群 ピボタル臨床第3相試験開始	H1	✓	
				レノックス・ガストー症候群 ピボタル臨床第3相試験開始	H1	✓	
	EXKIVITY Mobocertinib	EGFRチロシン キナーゼ阻害薬	オンコロジー	EGFRエクソン20挿入変異を有する非小細胞肺癌2L 中国申請	H1	✓	
				プラチナ製剤ベースの化学療法による治療歴のあるEGFRエクソン20挿入変異を有する非小細胞肺癌 米国承認	H2	✓	米国においてEXKIVITYの承認取得 (9/15)
	Pevonedistat TAK-924	NAE阻害薬	オンコロジー	高リスク骨髄異形成症候群1L ピボタル臨床第3相試験 (PANTHER) データ読み出し 高リスク骨髄異形成症候群 米国申請	H1 H2	✗	すべての研究開発活動を中止
	LIVTENCITY Maribavir	CMVプロテイン キナーゼ阻害薬	希少遺伝子疾患 および血液疾患	移植後の治療抵抗性/難治性サイトメガロウイルス感染 (症) 米国承認	H2	✓	米国においてLIVTENCITYの承認取得 (11/23)
	TAK-003	デング熱ワクチン	ワクチン	デング熱ワクチン 欧州承認および流行国での承認開始	H2	➡	2022年度に欧州で承認取得の見込み
	TAK-994	オレキシン2受容体 作動薬	ニューロサイエンス (神経精神疾患)	ナルコレプシータイプ2 POC ナルコレプシータイプ1 臨床第2相b試験データ読み出し ナルコレプシータイプ1 臨床第3相試験についての規制当局との調整	H2	➡	ベネフィット・リスクを評価するために臨床第2相試験を終了
	TAK-861	オレキシン2受容体 作動薬	ニューロサイエンス (神経精神疾患)	健康成人を対象とする臨床第1相試験開始	H1	✓	
ナルコレプシータイプ1 臨床第1相b試験開始				H2			
TAK-906	D2/D3受容体拮抗薬	消化器系疾患	胃不全麻痺 臨床第2相b試験データ読み出し	H1		プログラムを評価中	
TAK-755	ADAMTS13	希少遺伝子疾患 および血液疾患	免疫性血栓性血小板減少性紫斑病 (iTTP) 臨床第2相試験データ読み出し	H2			
TAK-951	ペプチド受容体作動薬	消化器系疾患	術後の悪心・嘔吐 (PONV) POC	H2			
Modakafusp alfa TAK-573	抗CD38-attenukine	オンコロジー	再発・難治性の多発性骨髄腫 POC	H2	✓	ASH2021にてデータ公表	
Subasumstat TAK-981	SUMO阻害薬	オンコロジー	複数のがん種 早期POC	H2			
TAK-007	CD19 CAR-NK	オンコロジー	当社スポンサーの臨床第2相試験の開始	H1	✓	臨床試験は、現在、被験者登録中	

1. 全てのタイムラインは2021年10月28日時点におけるおおよその予測であり、変更される場合があります。緑色のマークはマイルストーンを達成したことを示します。表中の研究開発マイルストーンは一部であり、包括的なものではありません。疾患名の略語用語集は参考資料をご参照下さい。 1L: 一次治療 2L: 二次治療、POC=ブルーフ・オブ・コンセプト

2021年度も継続するグローバル製品および地域製品の拡大



	品目	予想されるイベント ¹	21年度	コメント
 オンコロジー	ADCETRIS	皮膚T細胞性リンパ腫（CTCL） 中国承認	H1	✓
	NINLARO	幹細胞移植を受けていない初発の多発性骨髄腫における維持療法 日本承認	H1	✓
	ICLUSIG	Ph+急性リンパ芽球性白血病のフロントライン 米国申請	H2	➡ 今後の最終解析に基づき2022年度に申請見込み
 希少遺伝子疾患 および血液疾患	TAKHZYRO	遺伝性血管性浮腫 日本承認	H2	
	FIRAZYR	遺伝性血管性浮腫 中国承認	H1	✓
	VONVENDI	フォン・ヴィレブランド病の定期補充療法 米国承認	H2	✓
 消化器系疾患	GATTEX/ REVESTIVE	短腸症候群 日本承認	H1	✓
	ALOFISEL	クローン病に伴う難治性の肛門周囲複雑瘻孔 日本承認	H2	✓
	ENTYVIO	針を使わないジェットインジェクター ピボタル試験開始	H2	➡ 技術的な課題のため、 ピボタル試験の開始が2023年度に延期
	TAKECAB/ VOCINTI	口腔内崩壊錠 日本承認 酸関連疾患（逆流性食道炎の維持療法） 中国承認	H2 H2	✓ ✓
 ワクチン	スパイクボックス筋注	COVID-19予防 日本承認（Moderna社との提携）	H1	✓ 追加接種での適応取得（2021年12月）
	TAK-019	COVID-19予防 日本承認（Novavax社との提携）	H2	日本において承認申請（2021年12月）

1. 全てのタイムラインは2022年2月3日時点におけるおおよその予測であり、変更される場合があります。 緑色のマークはマイルストーンを達成したことを示します。

グローバル製品および地域製品の価値最大化



臨床第1相試験/臨床第2相試験

臨床第3相試験

申請

<p>オンコロジー</p>		<p>● NINLARO[®] Proteasome inhibitor Maint. ND MM post-SCT (US, EU)</p> <p>● NINLARO[®] Proteasome inhibitor Maint. ND MM no SCT (US, EU, CN)</p>	<p>● ICLUSIG[®] BCR-ABL inhibitor FL Ph+ ALL (US)</p> <p>● ALUNBRIG[®] ALK inhibitor 2L ALK+NSCLC H2H with alectinib (GL)</p>	<p>● CABOMETYX[®] VEGFR/RTK inhibitor mCRPC combo w/atezolizumab (JP)</p> <p>● CABOMETYX[®] VEGFR/RTK inhibitor 2L mNSCLC combo w/atezolizumab (JP)</p>	<p>● ALUNBRIG[®] ALK inhibitor 1L & 2L ALK+NSCLC (CN)</p> <p>● NINLARO[®] Proteasome inhibitor Maint. ND MM no SCT (JP)</p>	<p>● ADCETRIS[®] Seagen CD30 ADC CTCL (CN)</p> <p>● CABOMETYX[®] VEGFR/RTK inhibitor 1L RCC combo w/nivolumab (JP)</p>
<p>希少遺伝子疾患 および血液疾患</p>	<p>● NATPARA[®] PTH replacement Hypothyroidism (JP)</p>	<p>● TAKHZYRO[®] Anti-kallikrein mAb HAE pediatric (GL)</p> <p>● TAKHZYRO[®] Anti-kallikrein mAb BMA (GL)</p>	<p>● VONVENDI[®] vWF replacement vWD Pediatric on-demand & surgery (GL)</p> <p>● ADYNOVATE[®] recombinant Factor VIII Pediatric HemA (EU)</p>		<p>● TAKHZYRO[®] Anti-kallikrein mAb HAE (JP)</p>	<p>● VONVENDI[®] vWF replacement vWD Adult Prophylaxis (GL)</p>
<p>消化器系疾患</p>	<p>● ENTYVIO[®] α4β7 mAb Pediatric UC/CD (GL)</p>	<p>● ENTYVIO[®] α4β7 mAb SubQ CD (US, JP)</p> <p>● ENTYVIO[®] α4β7 mAb GvHD Prophylaxis (EU, JP)</p>	<p>● VOCINTI[®] PCAB H. Pylori (CN)</p> <p>● ALOFISEL[®] mesenchymal stem cells Perianal Fistulas in CD (US)</p>		<p>● ENTYVIO[®] α4β7 mAb SubQ UC (US, JP)</p> <p>● ENTYVIO[®] α4β7 mAb Active chronic Pouchitis (EU)</p> <p>● TAKECAB[®] PCAB Oral disintegrated tablet formulation (JP)</p>	<p>● VOCINTI[®] PCAB Reflux Esophagitis Maintenance (CN)</p> <p>● GATTEX[®] GLP-2R agonist Pediatric-SBS (JP)</p> <p>● GATTEX[®] GLP-2R agonist Adult-SBS (JP)</p> <p>● ALOFISEL[®] mesenchymal stem cells Perianal Fistulas in CD (JP)</p>
<p>血漿分画製剤</p>	<p>● CEPROTIN[®] Protein C Concentrate SCPCD (JP)</p>	<p>● CUVITRU[®] IgG 20% (human) subcutaneous PID (JP)</p>	<p>● HYQVIA[®] Halozyme IgG 10% + Recombinant Human Hyaluronidase CIDP (US, EU) CIDP, MMN (JP)</p>	<p>● HYQVIA[®] Halozyme IgG 10% + Recombinant Human Hyaluronidase Pediatric PID (US)</p>	<p>● HYQVIA[®] Halozyme IgG 10% + Recombinant Human Hyaluronidase HyHub Device (US)</p>	

● オーフアンドラッグ指定 (いずれかの開発地域もしくは効能で指定を受けたもの) ● 2020年度第4四半期以降の承認取得

ウェーブ1の承認およびグローバルブランド・地域ブランドの拡大を 研究開発エンジンが推進



EXKIVITY mobocertinib	✓ 2L NSCLC EXON 20; US	EXKIVITY mobocertinib	2L NSCLC EXON 20; EU, CN	TAK-755	cTTP	arylsulfatase A TAK-611	MLD (IT)
LIVTENCITY maribavir	✓ R/R CMV Transplant; US	LIVTENCITY maribavir	R/R CMV Transplant; EU	EXKIVITY mobocertinib	1L NSCLC EXON 20	GATTEX	SBS; CN
TAKHZYRO	HAE; JP	TAK-003	Dengue vaccine	LIVTENCITY maribavir	1L CMV Transplant	NINLARO	NDMM nSCT; CN
ENTYVIO	✓ Active Chronic Pouchitis; EU	idursulfase IT TAK-609	MPSII CNS	soticlestat TAK-935	DS LGS	HYQVIA	PID, SID; JP
NINLARO	✓ NDMM nSCT; JP	ALUNBRIG	1L ALK+ NSCLC; CN 2L ALK+ NSCLC; CN	ALOFISEL	CPF; US	TAKHZYRO	BMA; US
ALOFISEL	✓ CPF; JP	HYQVIA	Pediatric PID; US HyHub Device; EU, US	ALUNBRIG	H2H Alectinib NSCLC; US,EU	Niraparib	CRPC; JP
REVESTIVE/ GATTEX	✓ SBS; JP	Vonvendi	VWD Prophyl; JP	ENTYVIO SC	UC/CD SC; JP,US	vonoprazan	H.pylori; CN
Vonvendi	✓ VWD Prophyl; US	ICLUSIG	1L Ph+ ALL; US	NINLARO	NDMM nSCT; EU,US NDMM SCT; EU,US	TAK-880 Low IgA	PID Low IgA; EU
Aralast TAK-883	AADE ARA; EU			TAKHZYRO	HAE Peds; EU,US	relugolix	PC; CN
vonoprazan OD	ARD; JP				CIDP; EU,US MMN; EU HyHub Duo Device; EU,US	Vonvend	VWD Peds; EU,JP,US
vonoprazan	✓ EE maint; CN			HYQVIA			
cabozantinib	✓ 1L RCC; JP			Gammagard Liquid	CIDP; US		
ADCETRIS	✓ CTCL; CN			CUVITRU	PID, SID; JP		
TAK-919	✓ COVID-19			ADCETRIS	CTCL; JP		
TAK-019	COVID-19			CEPROTIN	SCPCD; JP		
				TAK-880 Low IgA	PID Low IgA; US		
				cabozantinib	mCRPC; JP NSCLC; JP		
				Vonvendi	VWD Prophyl; EU VWD; CN		

マイルストーン：承認見込み

- 新規候補物質の承認見込み
- グローバルブランドへの拡張の見込み
- 地域ブランドへの拡張の見込み
- ✓ 承認取得

2021年度

2022年度

2023年度

2024年度

略語の用語集



地域に関する略語:

CN: 中国; EU: 欧州; JP: 日本; US: 米国

AATD	α1-antitrypsin deficiency (α1アンチトリプシン欠乏症)
AD	Alzheimer's disease (アルツハイマー病)
ADC	antibody drug conjugate (抗体薬物複合体)
ADHD	attention deficit hyperactivity disorder (注意欠陥多動性障害)
AHA	acquired hemophilia A (後天性血友病A)
ALK	anaplastic lymphoma kinase (未分化リンパ腫キナーゼ)
ALCL	anaplastic large-cell lymphoma (未分化大細胞型リンパ腫)
AML	acute myeloid leukemia (急性骨髄性白血病)
ASCT	autologous stem cell transplant (自家幹細胞移植)
ARD	acid-related diseases (酸関連疾患)
AVA	Advanced Vial Access (改良型バイアルアクセス)
BBB	blood brain barrier (血液脳関門)
BLA	biologics license application (生物製剤承認申請)
BMA	bradykinin mediated angioedema (ブラジキニン介在性血管性浮腫)
BTD	breakthrough therapy designation (画期的新薬指定)
BTK	Bruton's tyrosine kinase (ブルトン型チロシンキナーゼ)
BOS	budesonide oral solution (ブデソニド経口懸濁液)
CAR-T	chimeric antigen receptor-T (次世代型キメラ抗原受容体発現T細胞)
CD	Crohn's disease (クローン病)
CHAWI	congenital hemophilia A with inhibitors (インヒビター保有先天性血友病A)
CHMP	Committee for Medicinal Products for Human Use (欧州医薬品委員会)
CIAS	cognitive impairment associated with schizophrenia (統合失調症に伴う認知障害)
CIDP	chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)
CLL	chronic lymphocytic leukemia (慢性リンパ性白血病)
CML	chronic myeloid leukemia (慢性骨髄性白血病)
CMML	chronic myelomonocytic leukemia (慢性骨髄単球性白血病)
CMV	cytomegalovirus (サイトメガロウイルス)
CSF	cerebrospinal fluid (脳脊髄液)
CNS	central nervous system (中枢神経系)
CPF	complex perianal fistulas (肛門周囲複雑瘻孔)
CRL	complete response letter (審査完了報告通知)

CRPS	complex regional pain syndrome (複合性局所疼痛症候群)
CTCL	cutaneous T Cell Lymphoma (皮膚T細胞性リンパ腫)
cTTP	congenital thrombotic thrombocytopenic purpura (先天性の血栓性血小板減少性紫斑病)
DAAO	D-amino acid oxidase (D-アミノ酸酸化酵素)
DEE	developmental and epileptic encephalopathies (けいれん性てんかん重積状態)
DLBCL	diffuse large B cell lymphoma (びまん性大細胞型B細胞リンパ腫)
DS	Dravet syndrome (ドラベ症候群)
DU	duodenal ulcer (十二指腸潰瘍)
Dx	diagnosis (診断)
EDS	excessive daytime sleepiness (日中の過度の眠気)
EE H	erosive esophagitis healing (びらん性食道炎の治癒)
EE M	erosive esophagitis maintenance (びらん性食道炎の再発予防)
EFI	enteral feeding intolerance (経腸栄養不耐性)
EGFR	epidermal growth factor receptor (上皮増殖因子受容体)
EMA	European Medicines Agency (欧州医薬品庁)
EOE	eosinophilic esophagitis (好酸球性食道炎)
ESCC	esophageal squamous-cell carcinoma (食道扁平上皮がん)
FDA	the U.S. Food & Drug Administration (米国食品医薬品局)
FL	front line (フロントライン適応)
FSI	first subject in (最初の患者登録)
GCC	guanylyl cyclase C (グアニル酸シクラーゼC)
GERD	gastroesophageal reflux disease (胃食道逆流症)
GI	gastrointestinal (胃腸)
GnRH	gonadotropin-releasing hormone (ゴナドトロピン放出ホルモン)
GU	gastric ulcer (胃潰瘍)
GvHD	graft versus host disease (移植片対宿主病)
HAE	hereditary angioedema (遺伝性血管浮腫)
H2H	head to head (直接比較)
HCC	hepatocellular carcinoma (肝細胞がん)
HemA	hemophilia A (血友病A)
HER2	human epidermal growth factor receptor 2 (ヒト上皮成長因子受容体2)
HL	Hodgkin's Lymphoma (ホジキンリンパ腫)
HR MDS	high risk myelodysplastic syndromes (高リスク骨髄異形成症候群)
HSCT	hematopoietic stem cell transplant (造血幹細胞移植)
IBD	inflammatory bowel disease (炎症性腸疾患)

IH	idiopathic hypersomnia (特発性過眠症)
IND	investigational new drug (治験薬)
iNHL	indolent non-Hodgkin's lymphoma (低悪性度非ホジキンリンパ腫)
I/O	immuno-oncology (がん免疫治療)
iTTP	immune thrombotic thrombocytopenic purpura (免疫性血栓性血小板減少性紫斑病)
IV	intravenous (静脈投与)
iPSC	induced pluripotent stem cells (人工多能性幹細胞)
L-ASA	low dose aspirin (低用量アスピリン)
LBD	Lewy Body Dementia (レビー小体病)
LB AML	low-blast acute myeloid leukemia (低プラスト急性骨髄性白血病)
LSD	lysosomal storage disorder (ライソゾーム病)
LCM	lifecycle management (ライフ・サイクル・マネジメント)
LGS	Lennox-Gastaut Syndrome (レノックス・ガストー症候群)
mAb	monoclonal antibodies (モノクローナル抗体)
MAOB	monoamine oxidase B (モノアミン酸化酵素B)
MDD	major depressive disorder (大うつ病)
MG	myasthenia gravis (重症筋無力症)
MLD	metachromatic leukodystrophy (異染色性白質ジストロフィー)
MM	multiple myeloma (多発性骨髄腫)
NAE	NEDD8 activating enzyme (NEDD8活性化酵素)
ND	newly diagnosed (新たに診断された)
NDA	new drug application (新薬承認申請)
Neg	negative (陰性)
NERD	non-erosive reflux disease (非びらん性胃食道逆流症)
NHL	non-Hodgkin's lymphoma (非ホジキンリンパ腫)
NK	natural killer (ナチュラルキラー)
NME	new molecular entity (新規候補物質)
NMPA	National Medical Products Administration (中国国家薬品监督管理局)
NSCLC	non-small cell lung cancer (非小細胞肺癌)
NSCT	non stem cell transplant (非幹細胞移植)
NT1 or NT2	narcolepsy Type 1 (ナルコレプシータイプ1) or narcolepsy Type 2 (ナルコレプシータイプ2)
ORR	objective response rate (客観的奏効率)
OSA	obstructive sleep apnea (睡眠時無呼吸症候群)
PARP	poly (ADP-ribose) polymerase (ポリADPリボースポリメラーゼ)
PAS	prior approval supplement (重大な変更: 事前変更申請)

PBS	phosphate buffered saline (リン酸緩衝生理食塩水)
PCAB	potassium competitive acid blocker (カリウムイオン競合型アシッドブロッカー)
PBS	phosphate buffered saline (リン酸緩衝生理食塩水)
PCAB	potassium competitive acid blocker (カリウムイオン競合型アシッドブロッカー)
Ph+ ALL	Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia (フィラデルフィア染色体陽性ヒト急性リンパ性白血病)
PID	primary immunodeficiency (原発性免疫不全)
PK	pharmacokinetics (薬物動態)
POC	proof of concept (概念実証)
POGD	post-operative gastrointestinal dysfunction (術後消化器機能障害)
POI	post-operative ileus (術後イレウス)
PTCL	peripheral T-cell lymphoma (末梢性T細胞リンパ腫)
PTH	parathyroid hormone (副甲状腺ホルモン)
R/R	relapsed/refractory (再発/難治)
RCC	renal cell cancer (腎細胞がん)
RTK	receptor tyrosine kinase (受容体チロシンキナーゼ)
sALCL	systemic anaplastic large cell lymphoma (全身性未分化大細胞リンパ腫)
SBS	short bowel syndrome (短腸症候群)
SC	subcutaneous formulation (皮下投与製剤)
SCD	sickle cell disease (鎌状赤血球症)
SCT	stem cell transplant (幹細胞移植)
SCZ	schizophrenia (統合失調症)
SID	secondary immunodeficiency (続発性免疫不全)
SLE	systemic lupus erythematosus (全身性エリテマトーデス)
sq	squamous (扁平上皮)
STING	stimulator of interferon genes (インターフェロン遺伝子刺激因子)
SUMO	small ubiquitin-related modifier (低分子ユビキチン様修飾因子)
TESD	treatment emergent sexual dysfunction (治療に起因する性機能障害)
TKI	tyrosine kinase inhibitor (チロシンキナーゼ阻害剤)
TRD	treatment resistant depression (治療抵抗性うつ病)
UC	ulcerative colitis (潰瘍性大腸炎)
vWD	von Willebrand disease (フォン・ヴィレブランド病)
vWF	von Willebrand factor (フォン・ヴィレブランド因子)

Takeda Investor Relations: takeda.ir.contact@takeda.com

